## 第十一次基本計画 実施計画(目的指向体系表)

## 政策目標1

## 安全で安心して暮らせるまち

- 施策1-1 危機管理体制の充実
- 施策1-2 総合治水対策の強化
- 施策1-3 災害に強い建築物や公共施設の整備
- 施策1-4 生活安全の推進
- 施策1-5 消防体制の強化

担当課	危機対策課・水道課・下水道課・社会福祉課・健康推進課			施策1-10	D全指標達成	<b>文</b> 率	
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 1	危機管理体制の充実	指標数	22	22	22	22	22
月指す姿	市民、観光客等が、自然災害等により死傷しない	達成数	14	14	15	17	0
日担分安		達成率	63.6%	63.6%	68.2%	77.3%	0.0%

					+15.+亚米5	4			-		I	
	_+- c				指標数	1	1	1	1	1		
7	以与	果指標(KPI)			達成数	1	1	1	1	0		
				d=1.244-1-1-	達成率	100.0%	100.0%	7 0		0.0%	>>/ / I	ID III TO
				基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成		発災時の人的	加油宝老粉	R1	目標値	0	0	0	0	0	人	危機対
指标	票		JIX CI CI CI	6人	実績値	0	0	0	0			危機 XI
				67	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			水味
月標	値	大規模自然災害	書時における人命の保護を	最優先とし	た、事	前防災対策	を推進し	ていくため	発災時の	人的被害者	数を	0人に
(A)		設定した。							, , , ,	120.001		
考え	方	12272 0 700										
		(宝績証価)	<ul><li>熱海市で大規模土石流災害务</li></ul>	発生の盾因	となった	大雨で、木	市において	<u> </u>	らん日の問	避難所を開	<b>₩</b>	淀菜
R			者8人を受け入れたが、死傷者									处工大匠
3 年			<ul><li>修正はなし。引き続き人命の</li></ul>						1/			
度		(水牛及修正品)	・修正はなし。引き続き入明の	グ末時で取	愛元こし	/C、 <del>サ</del> 町別.	火刈束の推り	生に劣めて0	100			
		(実績評価)	・8月13、14日及び9月2	2 1 0 1 7	雨のため	冷難所を関		5夕の避難3	ビた巫けると	つたが 死傷	きまた。	₩ <b>₩</b>
R		( ) ( ) ( ) ( ) ( )	うな大規模な自然災害の発生は						ヨで支げ八	いころ、クロ家	5 H Z I	шэс
4 年			・修正はなし。引き続き人命の		•	た声が吹災	☆************************************	ー奴仏ブル				
度		(次4)及修正点/	・修正はなし。510歳6人即6	//休設で取	愛元こし	に争削的火	刈束の推進し	こ劣めている	` 0			
		(実績評価)	<ul><li>6月2、3日及び3月29日</li></ul>	コに大雨の	ため沿機	で た 門 手 八 1	수타이션	つ、呼楽され	エロン かたナ	ず	:Ш=	トった
R			大規模な自然災害の発生はなが		/こなり近天田	別を用取し		<b>川</b> 姓無白で5	ゼリ人 れんこん	パ、 外場白色	:ш9	ような
5 年					原井 レニ	七古兰叶巛	++***	ーかいている				
度		(次年度修正点)	・修正はなし。引き続き人命の	り保護を取	愛允とし	に事則防災	刈束の推進し	こ劣めていく	•			
		/ ch //= === /# \		N 2 0 0 1		σ+ 14 \n <del>+</del> ##	=======================================	0=10.44	7 00 100 114 117 1		- L# -	工厂工
R			<ul><li>6月18日及び8月30日から</li><li>た出すたるなさり</li></ul>				所を開設し、	台計643	らの避難者を	と受け入れた	:か、!	光傷者
6			を出すような大規模な自然災害	/ - /		•	+++++ = +4+\4+ i		,			
年度		(次年度修止点)	<ul><li>修正はなし。引き続き人命の</li></ul>	り保護を最	慢先とし	に事前防災	対策の推進	こ努めていく				

						指標数	21	21	21	21	21		本的な取
2	1	基本的な取組(2	2桁コード)	・主な内容(4桁コ	ード)	達成数	13	13	14	16			・主な内 の達成状
						達成率	61.9%	61.9%	66.7%	76.2%	0.0%	況	
						指標数	2	2	2	2	2		
	01	津波避難困	難地区の	解消	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
						達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		津波路難協	カビルの新	津波避難協力ビル	R1	目標値	42	44	46	48	50	棟	危機対
	0	101 <u>年</u> 次經難 쪲 規指定	75 67007471	の指定数	39棟	実績値	39	38		38		]	策課
						0	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	
		.。。 海抜表示や	避難方向誘	津波避難標識設置に	R1	目標値	1	1	1	1	1	事業	危機対
	O,	102 海坂及がら 導サインの		伴う新規事業数	1事業	実績値	1	1	1	1		1	策課
		0101 津波避難	+ □ ###### <b>~</b> /	 解消率が99.1%とな	<b>ナ</b> いマナ	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成	アッパーナャナリ	以上	
	R 3			広げるために引き続。 3基(オレンジビー・			,,		, _,_,				
				ムーズに行うための <sup>・</sup>					直 ひた。 ブ	友についても	2, 210mic	21520	人父の世元
	R	避難困難	地域の解消	営業を廃止するとと 率については変わら 難の選択肢を広げる	ず99.1%と	こなっては	すり、残り₫	00.9%につ	いては津波				
年度	4	0102 市内の電	柱に設置さ	れている海抜表示看 誘導サインの状況を	板を146カ	所交換し	、68か所の			後についても	。、これまて	に設む	置した
評				解消率については変え 避難の選択肢を広							りビルの指定	Èでは	解消さ
佃	5			9年度に整備した津流 ででひ修していく。		の路面表	示116か	所のうち、	経年劣化に	半い損傷が著	ぎしい38だ	が所を	更新し
	R			ついて、令和6年度 から、実績値は38							が確認された	:2施	設の指
	6			2基(観光会館・観 の設置を計画的に進		)設置し	た。今後に	ついても、	引き続き市	民及び観光客	客の避難誘導	事をス	ムーズ

					指標数	3	3	3	3	3				
(	)2	2 防災意識及び知識の	向上	達成状況	達成数	1	2	2	2	0				
					達成率	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		美しい伊豆創造セン	美しい伊豆創造セン	R1	目標値	1	1	1	1	1		危機対		
	02	201 ターと連携した防災研	ターと連携した防災	10	実績値	0	3	2	4			危機列     策課		
		修	研修開催回数			× 未達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	NUX.		
			防災講座の実施回	R1	目標値	10	10	10		10		危機対		
	02	202 防災講演会の実施	数	100	実績値	11	18					策課		
			~		評価				〇 達成		以上	710011		
			自主防災組織におけ	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対		
	02	203 防災訓練の実施	る地域で行われる防災訓練の実施率	82%	実績値	94.0	96.4	91.1	88.6		, ,	策課		
			2 10 1111 12 110 1					× 未達成		- 55 (11.1.4)		en Ohn -		
	O2O1 伊豆半島ジオパーク推進協議会と連携した取組の実施はなし。今後については、火山に関する防災講座等の開催が予定される際に は必要な情報を提供していただくよう働きかけていく。													
	R 0202 令和3年度については、11回の防災講演会を開催した。今後についても防災意識の向上を目標に、引き続き小中学校や自治会、													
	R   0202 令和3年度については、11回の防災講演会を開催した。今後についても防災意識の向上を目標に、引き続き小中学校や自治会、   3   介護施設や民間企業等を対象とした講演会の要請に応えていく。													
	O2O3 158の自主防災組織が防災訓練を実施した。今後については、残りの10の自主防災会に訓練の開催を促し、全ての自主防災組織が防災訓練を実施することにより、実施率100%を目指していく。 O2O1 美しい伊豆創造センターと連携した研修会等の開催はなかったが、3回にわたり開催された委員会に出席することで、情報の共有													
		0201 美しい伊豆創造セン	ターと連携した研修	会等の開催	はなかっ	たが、3回	にわたり開	催された委	員会に出席す	することで、	情報	の共有		
			を実績値とし、目標				豆創造セン	ターが火山	に関する防災	災講座等の関	見催を	予定し		
	О		報を提供いただける											
	4	0202 令和4年度について							大きく上回る	る実施回数と	こなっ	た。令		
			、引き続き目標値の							1 <del></del>				
		0203 168の自主防災会の						まに比べ上昇	したか、目	標値の達成	とはな	ひひひ		
		0201 美しい伊豆創造セン	べての自主防災会が					<b>烂さわた</b> 素	号合に山舟7	オフーレブ	性主力	Λ+≠		
年			を実績値とし、目標											
		た際には 必要な情	報を提供していただ					<i>у 13</i> ДШ1		X114177 47 07 17	01E C	J- XL O		
度		0202 令和5年度について					の場で防災	講話を実施	し、日標を過	幸成すること	ーがで	きた。		
評	5		の開催要望に応えて		.85,7,4,7,6		V) J) C P) J J C			±120 0 C C	_/3 (	C/C°		
0		0203 169の自主防災会の	うち、154の自主防	が会が総合	<b>S防災訓網</b>	東又は地域の	5災訓練の実	に施口に防災	訓練を実施	した。実施	自治会	会数が昨		
価		年度よりも減少して	いるため、毎年開催	する自主防	災会活動	説明会にお	いて訓練実	施の呼びかり	けを行ってい	· \< 。				
		0201 美しい伊豆創造セン	ターと連携した研修	会等の開催	について	は、令和7:	年2月7日に	実施した「	伊豆東部火口	山群防災協調	議会二	アグ		
		ルーノ会議」におい	(、)伊豆果部火山群	とはなら	める大至	田・一岩湖	の現地視祭	を行った際、	、囘センター	一男仕研究員	長を講	師に招		
		いた。また、3回に	わたり開催された委員	員会に出席	すること	で、情報共	<b>自を図れた</b> /	こめ出席数で	5実績値に含	るめた。				
	О	0202 令和6年度について	も、住民からの関催	要望や防災	訓練、白	主防災会活	動説服会等	の場で防災	講話を実施1	, 日標を達	≢成す	ること		
	6		市民等からの開催要					**************************************			L174 J	300		
		総合防災訓練が台風	接近による悪天候の	ため中止と	なり、訓	練回数が減	少したもの	の、167の	自主防災会の	のうち、14	-8のE	主防災		
		0203 会が地域防災訓練又	は津波避難訓練の機	会に防災訓	練を実施	iした。 なお	、天候等の	影響により、	、計画した記	川練が実施で	ごきな	いこと		
		- も想定されることが	ら、訓練の機会を有	効に利用し	, (地域)	災刀の回上	を図るため	、今後も、	毎年開催する	る自主防災会	注活動	説明会		
		や総合防災訓練説明	会において、訓練を	継続して実	他するよ	つ呼び掛け	(11<							

					指標数		2	2	2	2	2				
(	23	3 防災拠点施設の環境	整備	達成状況	達成数		2	2	2	2	0				
					達成率	10	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		201 避難生活用食糧及び防	市の緊急物資(食	R1	目標値		10万	10万	10万	10万	10万	食	危機対		
	03	301 巡判土泊用及埋火びり 災資機材の備蓄	料)の備蓄量(約	10万食	実績値		10万	13万	10万	12万		R	危機列     策課		
		人只因的 <b>少</b> 属苗	10万食を維持)		評価	0	達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	NUX.		
			避難所運営訓練の	R2	目標値		1	1	1	1	1		危機対		
	0302 避難所の環境整備   全職に数 2回   実績値 1 1 2 1 2 1 第課														
		O3O1 食料の備蓄の目安としている10万食を確保している。今後についても10万食以上を維持するよう適正に管理していく。   R													
	R														
	3	3 0302 支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響により、対応に変更があった箇所について情報の共有を図った。今後についても同様の形で実施していく。													
		0301 令和4年度末の備蓄数						加に約2万食	が期限切り	となる. 堂(	了食 <u>料</u> 備蓄(	カ日安	テレノて		
<b>/</b> -	R	いる10万食を確保す					T/X//	JIC/102/01X	0 1.06 21400 00.	C/O O 1131		حرارر			
年	4	0302 支部職員活動説明会(	こ合わせて避難所運	営訓練を実	施した。	今後	につい	ては、新型	コロナウイル	レス感染症の	D感染症法」	この位	置づけ		
度		が、5類へと移行され	れることに伴う運営	方法の変更	について	の情	報共有	を図り、同	様の形で実施	拖していく。					
		0301 令和5年度末の食料値	備蓄数は約10万6千	食であり、	目安とし	ってし	1る107	「食を確保」	できた。引き	続き、計画	i的な購入を	継続	してい		
評	R							- +5=1			***	- / /	-%4		
/	5	0302 総合防災訓練や支部							ロナワイル	ス感染症の息	· 梁症法上0	つ位置	つけ		
価		が、5類へと移行され		, 0.2.		110 110	, ,,,,		c+ 31+4	:+	共の口中に	1 71	\7.4		
	П	0301 令和6年度末の食料値				.016	10万第	とを催保でき	だ。51さ統	さ、艮料偏	番の日女と	CC	161		
	R 6	0302 支部職員活動説明会				全丝	± ≣III	姉内突た済	古目古1. 3	₽¢##TFE9≣∿D	ナニロ温たが	ま学が	でキる		
	0	しろしと 文品職員活動記明云 よう、支部職員への			ルじつた。	プ阪			日元旦 U、)	吐井は八川田は又の	まに口がある	ま名り	(60)		

						指標数	1	1	1	1	1			
(	Э4	- 地垣	「防災力の強化		達成状況	達成数	0	0	1	1	0			
						達成率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	1		
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		<b>—</b>	<b>→</b> □→⟨⟨⟨⟨⟨□⟨⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩⟨ш⟩	ウチは※のゆるは	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	<b>₽</b> +%%±±	
	O4	1()1 —	主防災組織への防災 機材の交付	自主防災組織の防   災資機材充足率	G49/	実績値	59.0	48.0	100	100		70	危機対 策課	
		貝	成物の入り	火貝域的几定率	64%	評価	× 未達成	× 未達成	〇 達成	〇 達成			水味	
	R	0401								今後につい	ては、有事	に備え	えるた	
_	R   0401 102の自主防災組織から要望のあった1,778個の資機材のうち1,157個の資機材を交付した。今後については、有事に備えるために必要な各自主防災組織から要望される資機材を可能な限り交付できるよう努めていく。													
年	0	0401	防災資機材の交付にご	Oいては、自主防災	組織の加入	人数やそ	の地域の居	住人数等を	参考に交付す	する資機材の	D数量等を決	定し	てい	
度	R	0101	る。資機材の充足率は	こついては、高い水	準ではない	が、地域								
152	4		向上に寄与するよう、	今後も継続して交	付していく	0								
評	R		令和5年度については								つたしの避難	能計画	がんば	
	5		る市町」の認定を受け	ナ、補助率が従来の	1/3から2/	/3となっ	たことより	)、事業の拡	充を図るこ	とができた。				
価	)													
	R		自主防災会からの要望			すること	ができた。	今後も自主	防災活動に	必要となる業	fたな 防災資	<b>資機材</b>	の情報	
	6		提供を行うなど、地域	域防災力の強化に努	めていく。									

)5				指標数	3	3	3	3	3		
	情報伝達体制の多重	化	達成状況	達成数	2	1	1	2	0	İ	
Ŭ				達成率	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%		
	 主な内容	管理指標	基準値	Z2/24 1	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当
	20,32	C-230180	R1	目標値	100		100	100	100		
05	501 同報無線設備の整備	同報無線屋外拡声		実績値	100		100	100	100	%	危機
	りひ 一	子局の充足率	100%		〇達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			策
			D4	日標値	250		330	370	400		
		テレビプッシュ	R1						400	世帯	危機
JO	502 戸別受信機の整備	サービスの普及(登録世帯数)	144世帯	実績値	202		131	122		1	策
		(豆酥巴市级)		o	× 未達成			× 未達成		以上	
	503 メールマガジンの登録	メールマガジン	R1	目標値	10,000		11,000	_		人	危機
)5	503 推進	(防災情報)登録	8,942人	実績値	10,301	10,075	9,845	_			策
	JE CE	者数 ※1	0,542/	評価	〇 達成	× 未達成	× 未達成	_	_	以上	×
		LINE登録者数	R5	目標値	_	_	_	8,000	9,000	1	D_1/4
05	504 LINEの登録推進	(防災情報)登録	7,000	実績値	_	_	_	10,809		人	危機
_		者数 ※1	7,233人	評価	_	_	_	〇 達成		以上	策
	0501 設置が必要と考える		子局1/01	01 100	ミみのため	今後につい	ては滴正な	_	ための保守に		を定
ı,	的に実施していく。		1/0/1404		10707/207	ク反にラグ	CIORETTA	ME19 日 25 071	C00001A 9 7	W   V	r C AL
2	0502 目標世帯数を大幅に	下回ス結里となった	テレビブ	<sup>2</sup> √≥/¬ H	トービフにつ	ルフ <b>は</b> #	ービフの右辺	効性を広く目	目知すること	っが重	サブ
3	るため、今後につい								回れるのこと	_///里	女人
									# <i>!</i> +	- 14	F 10
ľ	0503 メールマガジンの登録		<b>標値を超え</b>	. ているか	、中心発信	9 句情報を	受け取るには	のの最大の場	米体 じめるだ		より
	層の登録者数増に取			- /-//			tota 1 % to 1	nha			
ľ	0501 同報無線屋外拡声子	司については <b>、</b> 允定	. 率100%を	雑持96	るよう、中氏	からの要望	寺かめつに	際には迅速に	_ 検討し刈り	いし (	.61<
١,	0502 翌日できるようにな	ごスについては、昨	年度より導	入を進め	っている緊急	告知ラジオ	の普及に伴	ハ、情報を即	収得する手段	设が多	様化
٦	選択 (このようにな)	うににめ、他の万法	と送択した	. してにみ	い、登録者	数が減少し	たものと思る	<b>りれる。それ</b>	1ぞれの方法	までの	登録
4	数増のため、本サー										
	0503 メールマガジンの登録	録者数については前	年と比べ29	93人減少	いしているか	が、防災情報	の取得手段	としてLINE	を選ぶ方が	増えて	ている
	ため、LINE登録者は	前年より人増加して	こいる。今後	後について	ては、各媒体	の登録者数	の増減を注	視する中で	上り名く		
		ついて コーナルナナ			-10.4 - MICI				、のりタく	の人に	一情新
	届けるための手段に	ノいく、51さ続さ快	討していく		210.1 B 2011				、ひりかく	の人に	一情報
	届けるための手段に 0501 同報無線屋外拡声子			0		からの要望	等があった				
		司については <b>、</b> 充足	率100%を	。 E維持する	るよう、市民			際には迅速に	こ対応してい	<u>،۱&lt;.</u>	また
	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの	司については、充足 の通報による不具合	率100%を が発覚した	。 E維持する 場合にも	るよう、市民 5迅速に対応	し、情報伝	達に支障が	際には迅速I ないよう、約	こ対応して( 推持管理にも	ハく。 5努め	またる。
	0501 同報無線屋外拡声子	司については、充足 の通報による不具合	率100%を が発覚した	。 E維持する 場合にも	るよう、市民 5迅速に対応	し、情報伝	達に支障が	際には迅速I ないよう、約	こ対応して( 推持管理にも	ハく。 5努め	またる。
3	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの	司については、充足 の通報による不具合 ごスについては、緊	率100%を が発覚した 急告知ラジ	。 E維持する 場合にも オの普及	るよう、市民 5迅速に対応 なをはじめと	し、情報伝して情報を	達に支障が 取得する手	際には迅速/ ないよう、 殺が多様化し	こ対応して( 推持管理にも し選択できる	ハく。 5努め 3よう	またる。
3	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの 0502 テレビブッシュサー たことにより、情報 報の収集手段を充実	司については、充足 の通報による不具合 ピスについては、緊 収集手段を見直され きせるため、本サー	率100%を が発覚した 急告知ラジ る方が増加 ビスについ	。 経維持する 場合にも オの普及 し、テレ ても引き	るよう、市民 5迅速に対応 なをはじめと レビプッシュ 5続き周知し	し、情報伝 して情報を サービスの ていく。	達に支障が 取得する手段 登録者数が	際には迅速/ ないよう、約 役が多様化し 域少したもの	こ対応して( 推持管理にも し選択できる ひと考えられ	ハく。 5努め 3よう 1る。	また る。 にな 災害
3	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの 0502 テレビブッシュサー たことにより、情報 報の収集手段を充実 0503 メールマガジンの登	同については、充足 の通報による不具合 ピスについては、緊 収集手段を見直され きせるため、本サー 録者数については前	率100%を が発覚した 急告知ラジ る方が増加 ビスについ 年と比べ23	。 揺持する 場合にも オの普及 し、テレ でも引き 30人減少	るよう、市民 5迅速に対応 なをはじめと レビプッシュ 5続き周知し ひしているか	し、情報伝 して情報を サービスの ていく。 び、防災情報	達に支障が取得する手段 取得する手段 登録者数が の取得手段	際には迅速/ ないよう、約 役が多様化し 減少したもの	こ対応して( 性持管理にも し選択できる のと考えられ	ハく。 5努め 3よう 1る。	またる。 になぎ
3 5	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの 0502 テレビブッシュサー たことにより、情報 報の収集手段を充実 0503 メールマガジンの登 ため、LINE登録者は	局については、充足 の通報による不具合 ピスについては、緊 収集手段を見直され させるため、本サー 録者数については前 前年より962人増加	率100%を が発覚した 急告知ラジ る方が増加 ビスについ 年と比べ230している。	。 経持する 場合にも オの普及 し、テレ ても引き 30人減少 そのたる	るよう、市民 の迅速に対応 なをはじめと マピプッシュ を続き周知し いしているか め、管理指	し、情報伝 して情報を サービスの ていく。 、防災情報 票05038	達に支障が 取得する手! 登録者数が の取得手段 手見直し、新	際には迅速にないよう、 ないよう、 没が多様化し 減少したもの としてLINE がたに管理指	こ対応して( 推持管理にも し選択できる のと考えられ を選ぶ方が は標 0 5 0 4	ハく。 5努め 3よう 1る。 増えで を設策	またる。 にない にない
3 5	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの 0502 テレビブッシュサー たことにより、情報 報の収集手段を充実 0503 メールマガジンの登 ため、LINE登録者は た。引き続き、各媒	司については、充足 の通報による不具合 ピスについては、緊 収集手段を見直され させるため、本サー 禄者数については前 前年より962人増加 本の登録者数の増減	率100%を が発覚した 急告知ラジ る方が増加 ビスについ 年と比べ2: 加している。 を注視する	。 経持する 場合にも オの普及 し、テし ても引き 30人減少 やで、よ	るよう、市民 は、 は、 なをはじめと などプッシュ に、 が、 に、 に、 が、 に、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	し、情報伝 して情報を サービスの でいく。 が、防災情報 票05038 に情報を届	達に支障が 取得する手段 登録者数が の取得手段 見直し、親 けるための	際には迅速にないよう、糸 ないよう、糸 投が多様化し 減少したもの としてLINE たにで理指 手段の検討を	こ対応しては 維持管理にも し選択できる かと考えられ を選ぶ方が 標の504 を行っている	ハく。 おろう あよう。 増えで をとい	また。 に災害 ている
3	0501 同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民からの502 テレビプッシュサーだことにより、情報報の収集手段を充実の503 メールマガジンの登にため、LINE登録者はた。引き続き、各媒	司については、充足 の通報による不具合 ピスについては、緊 収集手段を見直され させるため、本サー 禄者数については前 前年より962人増加 本の登録者数の増減	率100%を が発覚した 急告知ラジ る方が増加 ビスについ 年と比べ2: 加している。 を注視する	。 経持する 場合にも オの普及 し、テし ても引き 30人減少 やで、よ	るよう、市民 は、 は、 なをはじめと などプッシュ に、 が、 に、 に、 が、 に、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	し、情報伝 して情報を サービスの でいく。 が、防災情報 票05038 に情報を届	達に支障が 取得する手段 登録者数が の取得手段 見直し、親 けるための	際には迅速にないよう、糸 ないよう、糸 投が多様化し 減少したもの としてLINE たにで理指 手段の検討を	こ対応しては 維持管理にも し選択できる かと考えられ を選ぶ方が 標の504 を行っている	ハく。 おろう あよう。 増えで をとい	またる。 に災害 ている
3	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの 0502 テレビブッシュサー たことにより、情報 報の収集手段を充実 0503 メールマガジンの登 ため、LINE登録者は た。引き続き、各媒	司については、充足 の通報による不具合 どスについては、緊 収集手段を見直され させるため、本サー 録者数については前 前年より962人増加 本の登録者数の増減 司については、充足	率100%をが発覚したが発覚した。 急告知ラジ る方が増加 ビスについ 年と比べる かしている。 を注視する 率100%を	。 経 維持する 場合にも オの 普及 しても引き 30人減少 中で、よ に に に に に に に に に に に に に	るよう、市民 のはではいめと かとでプッタン が続き関ラリン がしているか が、管理指 でいるくの人 のよう、市民	し、情報伝 して情報を サービスの ていく。 が、防災情報 票05036 に情報を届 こからの要望	達に支障が和 取得する手に登録者数が の取得手段を見直し、新 けるための 等があった	際には迅速にないよう、糸段が多様化ではいまり、 のが多様化では、 ではいたものとしてLINEではできます。 ではいますが、 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	こ対応してしては 能持管理にも し選択できる のと考えられ を選ぶ方が 標の504 を行っている こ対応してし	ハく。 5努め るよう る。 増えて を設 が た。 ハく。	まる。に災している。
3	0501     同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの       0502     テレビブッシュサート たことにより、情報 報の収集手段を充実       0503     メールマガジンの登録をある。       ため、LINE登録者はた。引き続き、各媒の       0501     同報無線屋外拡声子列	司については、充足 の通報による不具合 どスについては、緊 収集手段を見直され させるため、本サー 録者数については前 前年より962人増加 本の登録者数の増減 司については、充足	率100%をが発覚したが発覚した。 急告知ラジ る方が増加 ビスについ 年と比べる かしている。 を注視する 率100%を	。 経 維持する 場合にも オの 普及 しても引き 30人減少 中で、よ に に に に に に に に に に に に に	るよう、市民 のはではいめと かとでプッタン が続き関ラリン がしているか が、管理指 でいるくの人 のよう、市民	し、情報伝 して情報を サービスの ていく。 が、防災情報 票05036 に情報を届 こからの要望	達に支障が和 取得する手に登録者数が の取得手段を見直し、新 けるための 等があった	際には迅速にないよう、糸段が多様化ではいまり、 のが多様化では、 ではいたものとしてLINEではできます。 ではいますが、 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	こ対応してしては 能持管理にも し選択できる のと考えられ を選ぶ方が 標の504 を行っている こ対応してし	ハく。 5努め るよう る。 増えて を設 が た。 ハく。	まる。に災している。
3	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの 0502 テレビブッシュサー たことにより、情報 報の収集手段を充実 0503 メールマガジンの登 ため、LINE登録者は た。引き続き、各媒 0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの も努める。	司については、充足の通報による不具合 ごスについては、緊 収集手段を見直され させるため、本サー 録者数について人増が 本の登録者数の増減 同については、充足 の通報による不具合	率100%をが発覚した。 急告知ラジる方が増加 ビスについ 年と比べる。 かを注視する 率100%を が発覚した	。 維持する 場場では がい、もので は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	るよう、市民 は、 では、 では、 では、 でいい。 でいい。 では、 でいい。 でいい。 では、 でいい。 でいいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいい。 でいいい。 でいいい。 でいい。 でいい。 でいいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でいいい。 でい。 で	し、情報伝 して情報を して情報を かていく。 で、防災情報 悪の503を に情報の また。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	達に支障が加速に支障が加速に対している。 取得する手段 での取得手段 で見直し、 親は けるための に 特があった 情報 に しん 情報 に しん 情報 に しん に は いん に は に は に は に は に は に は に は に は に は に	際には迅速にないよう、糸のが多様化しではいたものとしてLINEでは、まままでは、まままままままままままままままままままままままままままままま	こ対応しては 推持管理にも いと考えられ を選ぶ方が 標の504 を行っていく こ対応してい がないよう、	ハく。のおうる。増える。	まる。に災して記している。
3	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの 0502 テレビプッシュサート たことにより、情報 報の収集手段を充実。 0503 メールマガジンの登 ため、LINE登録者は た。引き続き、各媒 0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの も努める。	同については、充足の通報による不具合 ごスについては、系 以集手段を見直させるだめ、本サー 認者数について人増が がの名を表するが、 前年登録者数の増減 あについて人増減 るについて人増減 るについて人増減 るについて人増減 るについて人場が るいでは、充足	率100%を が発覚した 急告知ぎり る方がについ 年と比べる。 かしている。 を率100%を が発覚した	。 を維持する は場合にも がい、する ので、する ので、よる ので、よる でで、よる にも は場合にも ので、よる でで、よる にも にも にも にも ので、よる にも にも にも にも にも にも にも にも にも にも	るよう、市民 るよう、市民 をはいりを をはずり をはずり をがいました。 をはずり のいでで理り のいででは、 のいででは、 のいで	し、情報伝 して情報を して情報を の でいい いで いの いの いの いの いの いの いの いの に いる に いる に いる	達に支障が 取得する手が の取得手段 の取得手段 けるためった 特加し、の 等があった 施し、 のと推察さ	際には迅速は このが多様化し でのかりたもの としてLINE には では では にいまう、 にいまう。 といて にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいまう。 にいき にいまう。 にいま。 にいま。 にいまう。 にいまう。 にいま。 にいまう。 にいま。 にいまる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にしる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっ。 にっる。 にっ。	こ対応しては 推持管理にも し選択できる かと考えられ を選ぶ方が 標の504 をでいい こ対応いよう、 のみで情報を	ハく。 う う まる。 増を設 に が 維持 平 取	まる。に災しては、まででき
3	<ul> <li>0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの</li> <li>0502 テレビプッシュサート たことにより、情報 報の収集手段を充実</li> <li>0503 メールマカジンの登 ため、LINE登録者は た。引き続き、各媒</li> <li>0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの も努める。</li> <li>0502 緊急告知ラジオの導 テレビプッシュサート</li> </ul>	司については、充足の通報による不具合 ごスについては、充足 では、一では、では、では、では、では、では、では、ではでいるで、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	率100%を が発覚した 急告知ぎり る方がについ 年と比べる。 かしている。 を率100%を が発覚した	。 を維持する は場合にも がい、する ので、する ので、よる ので、よる でで、よる にも は場合にも ので、よる でで、よる にも にも にも にも ので、よる にも にも にも にも にも にも にも にも にも にも	るよう、市民 るよう、市民 をはいりを をはずり をはずり をがいました。 をはずり のいでで理り のいででは、 のいででは、 のいで	し、情報伝 して情報を して情報を の でいい いで いの いの いの いの いの いの いの いの に いる に いる に いる	達に支障が 取得する手が の取得手段 の取得手段 けるためった 特加し、の 等があった 施し、 のと推察さ	際には迅速は このが多様化し でのかりたもの としてLINE には では では にいまう、 にいまう。 といて にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいまう。 にいき にいまう。 にいま。 にいま。 にいまう。 にいまう。 にいま。 にいまう。 にいま。 にいまる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にしる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっ。 にっる。 にっ。	こ対応しては 推持管理にも し選択できる かと考えられ を選ぶ方が 標の504 をでいい こ対応いよう、 のみで情報を	ハく。 う う まる。 増を設 に が 維持 平 取	まる。に災しては、まででき
3	0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの 0502 テレビプッシュサート たことにより、情報 報の収集手段を充実。 0503 メールマガジンの登 ため、LINE登録者は た。引き続き、各媒 0501 同報無線屋外拡声子 保守点検や住民からの も努める。	司については、充足の通報による不具合 ごスについては、充足 では、一では、では、では、では、では、では、では、ではでいるで、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	率100%を が発覚した 急告知ぎり る方がについ 年と比べる。 かしている。 を率100%を が発覚した	。 を維持する は場合にも がい、する ので、する ので、よる ので、よる でで、よる は場合にも ので、よる は場合にも ので、よる にも にも にも ので、よる にも にも にも にも にも にも にも にも にも にも	るよう、市民 るよう、市民 をはいりを をはずり をはずり をがいました。 をはずり のいでで理り のいででは、 のいででは、 のいで	し、情報伝 して情報を して情報を の でいい いで いの いの いの いの いの いの いの いの に いる に いる に いる	達に支障が 取得する手が の取得手段 の取得手段 けるためった 特加し、の 等があった 施し、 のと推察さ	際には迅速は このが多様化し でのかりたもの としてLINE には では では にいまう、 にいまう。 といて にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいき にいき にいき にいまう。 にいき にいき にいまう。 にいき にいまう。 にいま。 にいま。 にいまう。 にいまう。 にいま。 にいまう。 にいま。 にいまる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にっる。 にしる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっる。 にっる。 にっる。 にっ。 にっ。 にっる。 にっ。	こ対応しては 推持管理にも し選択できる かと考えられ を選ぶ方が 標の504 をでいい こ対応いよう、 のみで情報を	ハく。 う う まる。 増を設 に が 維持 平 取	まる。に災しては、まででき
300	0501 同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民からいます。 できない できない できない できない できない できない できない できない	同については、充足の通報による不具合 ごスについては、系足 については、緊 収集手段を見直され きせるについて人増が がするというのでは、 がするというのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 でいては、 でいては、 でいては、 でいては、 でいていく。	率100%を が発覚した 急告が見い 毎日が見い 年日のでは 年日のでは からでは からでは からでは からでは からでは からでは からでは から	。 経維持にも 接場 オル、ても人がこれで、する でで、する 中の は場合 で、する で、する で、する で、する で、なる で、する で、まる で、まる で、まる で、まる で、まる で、まる で、まる で、ま	るよう、市民が なをはじかシュしか を続きているからで、 に続きているからで、 ではいるからで、 ではいった。 ではい。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	し、情報伝 し、情報伝 して情報を で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	達に支障がに 取得する数 の取得し、めの取り を見るだめ、 を見るがあります。 の取り で見るがあり、 であるだめ、 であるだめ、 であるだめ、 であるだめ、 であるだめ、 であるだめ、 であるだめ、 であるだが、 であるだが、 であるだが、 であるだが、 であるだが、 であるだが、 であるだが、 である。	際には迅速はいよう、糸段が多様化したものはいまったににできます。 として LINE 手段のは迅速に 支障が できる、 視覚の ない できる は 社会 に かい	こ対応しては 推持管理にも できるが を選びられる を選びられる を選びられる でででである。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる。 でい。 でいる。	ハく。 3よう。 増える。 増える。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	まる に災 いし ま管 で聴た な害 いし た理 き覚
300	0501       同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検の住民から、情報と表している。         0502       テレビブッシュサーたことにより、情報を放棄手段を充実により、以下と登録者はた。引き続き、とりまた。         0503       メールマガジンの登録を放きによりに対象の書きのである。         0501       保守点検や住民からたち努める。         0502       緊急告知ラジオの導力がい者への周知を図         0504       LINEの防災情報の登	司については、充足の通報による不具合では、不見合いでは、不見合いでは、では、というで見を見る本りのを見る本では、では、というでは、ないのでは、では、ないのでは、不見の通報による。では、、までは、、は、いく。	率100%をが発覚した。   お発覚した   まちがにいる。   ることという。   ないのでは、   ないの	。 総持合に 対しても人滅だ。 では では では では では では では では では は は に で に に に に に に に に に に に に に	るよう、市民の るよう、市民の をはじめと をはじめと をはじめらり をはじめらり をはじめらり をはじめらり がいのででではいるが ののでは、 ののではいるが ののではいるが ののではいるが ののではいるが ののではいるが ののでは、 の	し、情報伝 して情報を して情報の で、防災05情報の で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	達に支障がが 取得する手が 登録で見したがのでである。 の取見したがあり、 で見るだあり、 で見るだあり、 であるためのである。 であると、 である。 であると、 である。 である。 であると、 であると、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	際には迅速はいよう、糸段が多様化しででではいまりでは、 をしてにいいででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	こ対応してしては 能持管理にも では考えられ を選びうのと を選びらのも を選びられいで を選びられいで ではないよう、 のみで情報を には、 のみで情報を には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	ハく。めう。はきない。持ている。	まる に災 いり ま管 で聴 がり た理 き覚 リ
	<ul> <li>0501 同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民から、情報は表している。</li> <li>0502 テレビブッシュサートをことにより、情報を放りを充実的ない。</li> <li>0503 メールマガジンの登録を放けた。引き続き、各媒のはいたのでは、はいたでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない</li></ul>	同については、充足の通報にしては、不見の通報にしては、不具にしては、不見にしては、不見にしていて見を見る。本ははできる。というでは、からのでは、不見には、ないのでは、不見には、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、、基準値とは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、利用者がは、不足がは、不足がは、不足がは、不足がは、不足がは、不足がは、不足がは、不足	率100%をが発覚した。   が発覚した。   うがればいい。   うがればいい。   うがれにはいる。   うがれにはいる。   では、   のでは、    。 維持合 ボ場場 オル、も人がで 大きに では 大きに では 大きに では 大きに では 大きに 大きに 大きに 大きに 大きに 大きに 大きに 大きに	るよう、市民がなどは、 をはじめシュースをはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	し、情報伝 し、情報伝 して情報と していいで、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでした。 でのでし。 でので。 でので	達に支障がに 取得するが の取息にあるが を見したが、 を見るだあ、情報ののと推察が、 のとを表し、 のとを表し、 のとを表し、 のとのである。 ののでものである。 ののでものできる。 ののでものできる。	際には迅速は いよう、糸 投が多様化し で管域のしたもの とたにに で検討を いるとして に で を は す り した に で り した も の した も の した も の も の も る も る も る も る も る も る も る も る	こ対応しては 能持管理にも ではまる。 を選います。 を選います。 を選います。 を選います。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	いるのからある。 増をない、維持 得、 トブ	まる に災 いし ま管 で聴 がック た理 き覚 リク	
	○501 同報無線屋外拡声子供守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民からにより、情報報の収集手段を充実等を表す。    ○503 メールマガジンの登録を放し、    日記を持ち、引き続き、各域に、引き続き、各域に、引き続き、各域では、を対した。    日記を持ち、    日記を持ち、	同については、充足の通報にしては、不足の通報による不具になる不見になるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	率100%をが発覚した。 ジャイン で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	。 経構持にも が表場 があるので、する では、する では、する では、する では、する では、する では、する では、する では、する では、する では、これで、する では、これで、する では、これで、する では、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	るよう、市民がなどは、 をはじめシュースをはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	し、情報伝 し、情報伝 して情報と していいで、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでした。 でのでし。 でので。 でので	達に支障がに 取得するが の取息にあるが を見したが、 を見るだあ、情報ののと推察が、 のとを表し、 のとを表し、 のとを表し、 のとのである。 ののでものである。 ののでものできる。 ののでものできる。	際には迅速は いよう、糸 投が多様化し で管域のしたもの とたにに で検討を いるとして に で を は す り した に で り した も の した も の した も の も の も る も る も る も る も る も る も る も る	こ対応しては 能持管理にも ではまる。 を選います。 を選います。 を選います。 を選います。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	いるのからある。 増をない、維持 得、 トブ	まる に災 いし ま管 で聴 がック た理 き覚 リク
300	<ul> <li>0501 同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民から、情報は表している。</li> <li>0502 テレビブッシュサートをことにより、情報を放りを充実的ない。</li> <li>0503 メールマガジンの登録を放けた。引き続き、各媒のはいたのでは、はいたでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない</li></ul>	同については、充足の通報にしては、不足の通報による不具になる不見になるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	率100%をが発覚した。 ジャイン で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	。 経構持にも が表場 があるので、する では、する では、する では、する では、する では、する では、する では、する では、する では、する では、これで、する では、これで、する では、これで、する では、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	るよう、市民がなどは、 をはじめシュースをはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 をはいずりのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	し、情報伝 し、情報伝 して情報と していいで、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでした。 でのでし。 でので。 でので	達に支障がに 取得するが の取息にあるが を見したが、 を見るだあ、情報ののと推察が、 のとを表し、 のとを表し、 のとを表し、 のとのである。 ののでものである。 ののでものできる。 ののでものできる。	際には迅速は いよう、糸 投が多様化し で管域のしたもの とたにに で検討を いるとして に で を は す り した に で り した も の した も の した も の も の も る も る も る も る も る も る も る も る	こ対応しては 能持管理にも ではまる。 を選います。 を選います。 を選います。 を選います。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	いるのからある。 増をない、維持 得、 トブ	まる に災 いし ま管 で聴 がック た理 き覚 リク
	0501       同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民から、情報。         0502       テレビブッシュサートにことにより、を充実の収集手段との多いを充実がある。         0503       メールマガジンの登録者はた。引き続き、以INE登録者はた。引き続き、場別を発達を対している。         0501       同報無線屋外拡声分の場所を発力のある。         0502       緊急告知ラジオの導力がい者への周知を図りますがい者への周期を図りますがいる。         0504       LINEの防災情報の登上コーアルされたでも情報との人に情報を届ける場合では、	同については、充足の通報による不具合 ごスについては、なれ については、なれ については、なれ については、され を見るサー が者数についても が者数についても が者数の増え を引きいのもない。 を引きいる。 を引きないのは、不具 のののでは、本のではいい。 は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	率100%をが発覚した。 急告が発覚した。 急告方が追加いできるとどれいでは、 ではいている。 を取り込むできる。 を取り込むできる。 ではいるのではいる。 ではいるのではいる。 ではいるのではいるのではいる。 ではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるの	。 維持合に 対し、も人のでは 大きに がいまする。 では は は は は は は は は は は は は は	るよう、市民が をはじめシ知るない。 をはじめシ知るが、 がいのででは、 がいのででは、 がいのでは、 のでは、	し、情報伝 し、情報伝 して「HZ、 「T、 「N S O S 4 を で、 「N S O S A を 「N S O S O S O S O S O S O S O S O S O S	達に支障が 取得するが の取得しためのに のある情報 のあるにあいます。 のあるにあいます。 のあるにあいます。 であるにあるにあいます。 であるにあるにあるにあるにあるにあるにあるにあるにあるにあるにあるにあるにあるにあ	際には迅速は いよう、 のが多様化し の域少したもの として管検迅を には支障が できる。は できる。は できる。 できる。 できる。 でもの でもの でもの では、 できる。 でもの でもの でもの では、 できる。 できる。 でもの でもの では、 できる。 で。	こ対応しては は特管理できる を選択するられ を選の504 を受うていてしる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	いうろよう。増をない、経験しているのでは、できない、は、できない、は、できないでは、いくないでは、いっている。これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、	まる に災 いし ま管 で聴 がッよた。 な害 で た理 き覚 リクリ
תוח תוח	○501 同報無線屋外拡声子供守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民からにより、情報報の収集手段を充実等を表す。    ○503 メールマガジンの登録を放し、    日記を持ち、引き続き、各域に、引き続き、各域に、引き続き、各域では、を対した。    日記を持ち、    日記を持ち、	同については、充足の通報による不具合 ごスについては、なれ については、なれ については、なれ については、され を見るサー が者数についても が者数についても が者数の増え を引きいのもない。 を引きいる。 を引きないのは、不具 のののでは、本のではいい。 は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	率100%をが発覚した。 急告が発覚した。 急告方が追加いできるとどれいでは、 ではいている。 を取り込むできる。 を取り込むできる。 ではいるのではいる。 ではいるのではいる。 ではいるのではいるのではいる。 ではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるの	。 総持合に 対しても人のでする のでする 30 そでで持合に では 30 そでは は場合に では 30 そでは 30 そでは 30 見画で 30 見画で 30 見画で 30 にな 30 にな	るよう、市民が るようににいかとなった。 をはいりのは、 をはいりのは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	し、情報伝 し、情報伝 して情報で してでいいで、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	達に支障がに 取得する数 の取得し、めった。 の取自るだめ、 で見るだめ、 で見るだめ、 が、 で見るだめ、 が、 のあるため、 が、 であるため、 が、 であるため、 であるため、 であるため、 である。 であるため、 である。 であるため、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	際には迅速はいい。 際には迅速はいかのでは、 のではいるでは、 のではいるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	こ対応しては 能持管理にも を選択するられ を選ぶ方がは にできるのと を選ぶ方がないでは ででがないでは ででがないでは ででがないでは ででがないでは ででがないでは ででがないでは ででがないでは ででがないでは ででがないでは でででがないでは でででがないでは でででがないでは でででがないと ででででがないと でででがないと でででがないと ででででがないと でででがないと でででがないと でででがないと ででででがないと でででがないと でででがないと でででがないと でででがないと でででがないと でででがないと でででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと でででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと ででででがないと でででででがないと でででででがないと でででででがないと でででででがないと でででででがないと ででででででがないと ででででででででででででがないと でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	いうろよう。増をない、経験しているのでは、できない、は、できない、は、できないでは、いくないでは、いっている。これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、	まる に災 いし ま管 で聴 がッよた。 な害 やし た理 き覚 リクの
	0501       同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民から、情報の収集手段との多い。         0502       テレビブッシュサートにことにより、を充実的ない。         0503       メールマガジンの登録者はた。引き続き、めいにNE登録者はた。引き続き、各媒の場所を発達を対している。         0501       同報無線屋外拡声分の表別では、         0502       緊急告知ラジオの導力がい者への周知を図りますがい者への周期を図ります。         0504       LINEの防災情報の登上コーアルされたこの所災講話等でも情報と、の人に情報を届け、新たな情報収集ツールとの表別では、	同については、充足の通報による不具合 ごスについては、なれる については、なれる については、繁れれる にもいるにはは が者数については、 が者数については、 が者数にのいるのは がすなり962人増減 本の登録するは、不具合 ない、 によい。 によい。 にない。 はい、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 にない。 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	率100%をが発覚した。 急告が増加している。 急告が増加している。 を取りがしている。 を取りが変更が発覚した。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	。 維持合に オル、も人ので、するも スので、するも で持合に で持合に スので、するも で持合に スので、するも で持合に スので、するも では、 なるので、 なるで、 な。 なるで、 、 な。 な。 なるで、 な。 な。 な。 な。 な。 な。 な。 な。 な。 な。	るよう、市民が をはじめシ知るないででは、 をはじめり知るないででは、 をはじめり知るないでは、 のでででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでででは、 の	し、情報伝 し、情報伝 して情報をの していいで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、	達に支障がに対している。 取得する数では、できないでは、できないできます。 の取りでは、できないできないできます。 ののできますが、できますが、できます。 ののできますが、できます。 のあるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できます。 であるできますが、できますが、できます。 であるできますが、できますが、できます。 であるできますが、できますが、できます。 であるできますが、できますができますが、できますができますができますができますができますができますができますができますが	際には迅速はいい。 際には迅速はいかのでは、 のではいるでは、 のではいるでは、 では、 ではいるでは、 ではな、 ではな、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	こ対応しては は特管理できる を選ぶ方が を選ぶ方がは できるでででした。 でではないでは ででは ででは ででは ででは ででは ででは ででは	いうろよう。増をない、経験しているのでは、できない、は、できない、は、できないでは、いくないでは、いっている。これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、	まる に災 いし ま管 で聴 がッよた。 な害 る た理 き覚 リグの
	0501       同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民から、情報。         0502       テレビブッシュサートにことにより、を充実の収集手段との多いを充実がある。         0503       メールマガジンの登録者はた。引き続き、以INE登録者はた。引き続き、場別を発達を対している。         0501       同報無線屋外拡声分の場所を発力のある。         0502       緊急告知ラジオの導力がい者への周知を図りますがい者への周期を図りますがいる。         0504       LINEの防災情報の登上コーアルされたでも情報との人に情報を届ける場合では、	同については、充足の通報による不具合 ごスについては、なれる については、なれる については、繁れれる にもいるにはは が者数については、 が者数については、 が者数にのいるのは がすなり962人増減 本の登録するは、不具合 ない、 によい。 によい。 にない。 はい、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 にない。 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	率100%をが発覚した。 急告が発覚した。 急告方が追加いできるとどれいでは、 ではいている。 を取り込むできる。 を取り込むできる。 ではいるのではいる。 ではいるのではいる。 ではいるのではいるのではいる。 ではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるの	。 維揚 オして30 中維場 一伝 る見呼く いる表現で の、ますで で持合 で持合 で持合 で達 和直び。 る見呼く いる標数 で数数 で数数	るよう、市民が をはじめシ知るない。 をはじめシ知るない。 はいのでは、 といっと、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 といでは、 はいでは、 と、 といでは、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	し、情報伝 し、情報を して情報を ので、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	達に支障が 取得するが の取信しめの を見しためった を見るための を見るための を見るための を見るための を見るための を見るための を見るための を見るための を表の のある、 である、 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	際には迅速はいい。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 ではななななななな。 ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	こ対応しては 推持管理にも できるかられる を選の504 をですがないとう。 のみでは、 のみでは、 のかないでは、 のがないでが	いうろよう。増をない、経験しているのでは、できない、は、できない、は、できないでは、いくないでは、いっている。これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、	まる に災 いし ま管 で聴 がッよた。 な害 る た理 き覚 リクパ
U.O U.O —	0501       同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民から、情報の収集手段り、充充受証を放し、以下登録者はた。引き続き、ない、以下登録者はた。引き続き、なりきがいる。         0503       メールマガジンの登録者はた。引き続き、ない、はNE登録者はた。引き続き、本体では、では、ないない。         0501       同報無線屋外拡声分の表域では、ないまでは、大変のよりでは、大変のよりでは、大変のよりでは、大変のよりに、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	同については、充足の通報については、不足の通報については、不具合	率100%をが発覚した。 急告方についる。 ることでいる。 を本100%を本が発覚した。 でを取ります。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	。 維持合に オル、も人ので、するも スので、するも で持合に で持合に スので、するも で持合に スので、するも で持合に スので、するも では、 なるので、 なるで、 な。 なるで、 、 な。 な。 なるで、 な。 な。 な。 な。 な。 な。 な。 な。 な。 な。	るよう、市民が をはじめシ知るない。 をはじめシ知るが、 をはじめシ知るが、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 ででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 ででは、 のででは、 ででは、	し、情報伝 し、情報を して情報を の で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	達に支障が 取得するが の取得したので の取息にある情報 のあるためで ができたがでする。 のあるためで のあるためで であるがでする。 であるができたができたができた。 であるができたができたができた。 であるができたができたができた。 であるができたができた。 であるにあった。 であるにあった。 であるにあった。 であるにあった。 であるにあるにはいる。 であるにはいるできた。 であるにはいるではいるできた。 であるにはいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるで	際には迅速はいい。 一般ではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	こ対応しては 推持管理にも できるかられる を選ぶ方がないよう、 を選ぶ方がないよう、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	いう よる。 増を かん と	まる に災 て ま管 で で がッよ し た ま き プレクリン た こく
	0501       同報無線屋外拡声子保守点検や住民から保守点検や住民から保守点検や住民から、情報の収集手段との多い。         0502       テレビブッシュサートにことにより、を充実的ない。         0503       メールマガジンの登録者はた。引き続き、めいにNE登録者はた。引き続き、各媒の場所を発達を対している。         0501       同報無線屋外拡声分の表別では、         0502       緊急告知ラジオの導力がい者への周知を図りますがい者への周期を図ります。         0504       LINEの防災情報の登上コーアルされたこの所災講話等でも情報と、の人に情報を届け、新たな情報収集ツールとの表別では、	同については、充足の通報による不具合 ごスについては、なれる については、なれる については、繁れれる にもいるにはは が者数については、 が者数については、 が者数にのいるのは がすなり962人増減 本の登録するは、不具合 ない、 によい。 によい。 にない。 はい、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 にない。 にない、 にない、 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 にない、 にない、 にない。 にない、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	率100%をが発覚した。 急告が増加している。 急告が増加している。 を取りがしている。 を取りが変更が発覚した。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	。 維揚 オして30 中維場 一伝 る見呼く いる表現で の、ますで で持合 で持合 で持合 で達 和直び。 る見呼く いる標数 で数数 で数数	るよう、市民が をはじめシ知るない。 をはじめシ知るない。 はいのでは、 といっと、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 といでは、 はいでは、 と、 といでは、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	し、情報伝 し、情報を して情報を ので、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	達に支障が 取得するが の取信しめの を見しためった を見るための を見るための を見るための を見るための を見るための を見るための を見るための を見るための を表の のある、 である、 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	際には迅速はいい。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 のではいます。 ではななななななな。 ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	こ対応しては 推持管理にも できるかられる を選の504 をですがないとう。 のみでは、 のみでは、 のかないでは、 のがないでが	いうろよう。増をない、経験しているのでは、できない、は、できない、は、できないでは、いくないでは、いっている。これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、	まる。に災 いし ま管 で聴 がッよ した

						指標数	1	1	1	1	1		
C	06	帰宅	会困難者対策の整	備	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		宿	泊施設等との災害協	災害時相互応援協定	R1	目標値	1	1	1	1	1		危機対
	O601 定による協力体制の強化 化 R O601 災害時相互応援協定等			の実効性を高める協	1 🗆	実績値	1	1	1	1			危機刈   策課
	0601 定による協力体制の強化 化 R 0601 災害時相互応援協定			議回数		評価	〇 達成	〇 達成		〇 達成		以上	
	R 3	0601		等の締結先について	は、常にお	互いの情	請報が最新の	ものとなる	よう、担当	者等に変更な	が生じた際に	こは情	報を共
年	R 4	0601	災害時相互応援協定 変更が生じた際には			ず、締結	先の事業者	と常にお互	いの情報が	最新のものと	となるよう、	担当	者等に
年 4 変更が生じた際には情報を共有している。 度 R 0601 災害時相互応援協定等については、宿泊施設に限らず、締結先の事業者と常にお互いの情報が最新 面 5 変更が生じた際には情報を共有している。												担当	者等に
	R 6	0601	災害時相互応援協定 変更が生じた際には			ず、締結	先の事業者	と常にお互	いの情報が	最新のものと	となるよう、	担当	者等に

		,避難行動要支援者避	雑士控制両の		指標数		2		2		2		2	2		
(	7	, 避無11到安义饭百姓; 充実	継义技計画の	達成状況	達成数		2		2		2		2	0		
1					達成率	10	0.0%	10	0.0%	10	0.0%	10	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値			R3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
		70.4 避難行動要支援者名簿	<b>P</b>	R2	目標値		100		100		100		100	100	%	ナム河
	0	701 <sup>避無17</sup> 割安又抜有石海 の配付	民生委員児童委員への名簿の配付率	100%	実績値		100		100		100		100			社会福祉課
		008013	(0)日/母(0)田(3年	100%	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成			111.01
			避難行動要支援者名	R2	目標値		100		100		100		100	100	%	社会福
	0	702 要支援者の実情把握	簿を活用した対象者	100%	実績値		100		100		100		100		/6	社芸細
		の実情把握(率)														111.01
		0701 各地区定例会に出席	し、名簿に関する取	扱方法等に	ついて訪	朗を	行った	のち	、委員	への	配付を	行った	こ。			
	R															
	3	3 0702 情報の更新作業を行うことで、名簿配付時には更新された情報を提供することができた。また、避難支援等関係者にあっては提供された情報をもとに実情把握に努めた。														
		0701 民生委員児童委員に対	対し避難行動要支援	者名簿を配	付したこ	とて	、地域	住民	の実態	把握·	や見守り	り活動	動に活用	することだ	ができ	た。
年	R															
牛	4	0702 名簿情報の更新を行い	ハ、避難支援体制の	整備に向け	て、対象	者の	情報収	集に	努めた。	0						
度																
is.		0701 民生委員児童委員に対	対し避難行動要支援	者名簿を配	付したこ	とて	、地域	住民	の実態	把握	や見守り	り活動	動に活用	することだ	ができ	た。
評	R															
	5	0702 名簿情報の更新を行し	ハ、避難支援体制の	整備に向け	て、対象	者の	情報収	集に	努めた。	0						
価																
		O/O1 民生委員児童委員に対	可し避難行動要支援	者名簿を配	付したこ	2	、地域	住民	の実態	把握 <sup>·</sup>	や見守り	り活動	助に活用	することだ	いでき	た。
		0700 夕際桂田の玉虹ナケ	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ホケル・カーナ	~ ÷+#	- <del></del>	\#±±0.1\	<b>4</b>	カルナ							
	0	0/02 名溥情報の更新を行り	八、避難文援体制(0)	整備に回げ	(、刈家	(首0)	が有報収	集に	・   分のに	0						
価	R5 R6	0702 名簿情報の更新を行い       0701 民生委員児童委員に対し       0702 名簿情報の更新を行い	対し避難行動要支援	者名簿を配	付したこ	ことで	、地域	住民	の実態	把握·	や見守	り活動	動に活	F	用することだ	用することができ

	О	U1U2 <del>2</del> 3	専情報の史新を付い	1、避難文援体制(/)	発佣に回げ	C、XJ多	省0.	川有牧収	果に	_劣めに	•						
						II- I- II-											
	~~	上下水	道施設に係る	災害・事故時	)+ + IV	指標数		3		3		3		3	3		
(	280		に対応できる		達成状況	達成数	4.0	3	4.0	3		2	4.0	3	0		
					基準値	達成率		00.0% R3	10	00.0%	6	6.7% R5	10	00,0% R6	0.0% R7	244 J-T-	担当課
			な内容	管理指標	基準恒 R2	月標値		237		R4 237		237		237	237		担ヨ誄
	s	301 緊急時	まにおける資材・	   備蓄資材の品目数		実績値		237		237		237		237	231	品目	水道課
		1 配管林	すの確保	開曲負担の加口数	237品目	- 4.1541	0		0		0		0	達成		以上	小色味
					R2	目標値		7		7		7	)	7	7		
	7団体 実績値 7 7 7 7												団体	水道課			
	(維持) 評価 〇 達成 〇 達成 〇 達成 〇 達成 以上												以上	, , ,			
	0802 応援協力体制の確立 他事業体との協定 R2 目標値 1 1 1 1 1 1																
	O団体   実績値 1 1 0 1   O 1													団体	下水道		
														課			
	(開間中間   下 価   〇 達成   × 未達成   〇 達成   以上   以上   O8O1 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。																
		0801 災	害や突発的な漏水	事故に備えるため、	引き続き備	蓄資材の	確保	に努め	<b>、</b> 累	<b>※急対応</b>	でき	る体制を	を整	える。			
	R 3	0002 +:	日塔巛宇竿に供う	他の事業団体との	応控 切力 体	生しの球点	<u> </u>	ハンで奴	<i>th</i> 7	-1)/	r -k	// 古田【					
				アナンス協同組合と									帝結	した。	【下水道課】		
				事故に備えるため、													
	R																
年	4			他の事業団体との													
				ことから、今後は協									- +				
度		0801 災	手や突発的な漏水	事故に備えるため、	51さ続さ俑	畜貧材0.	)惟ほ	まに劣め	、	《思刈心	でさ	る体制な	を整	える。			
≣π	R 5	0802 *	見模災害等に備え.	他の事業団体との	応援協力体	制の確保	に多	w てい	<u> </u>	【水道	里]						
от	5			産成したものの、令利								テナンス	な協り	司組合か	解散したた	め未	達成と
価		な	った。今後は新たな	る協定先を選定し締	結を目指す	。【下水	〈道誤	₽]									
		0801 災	害や突発的な漏水	事故に備えるため、	引き続き備	蓄資材σ	確保	に努め	、累	<b>※急対応</b>	でき	る体制を	を整	える。			
				W. 5 + W C H   5		#-! - T#-15	1	n —		F 1.346	-m <b>1</b>	+2 ()		1.34047	V=1		1 frfr +12
	R			他の事業団体との計画で、県と公益社											災計画の第2		
	6			人 「政令指定都市													
				することができる。.													2 22.2

					指標数		4	4	4	4	4	1		
(	90	感染症対策の推進		達成状況	達成数		1	1	2	2	0			
					達成率	25	5.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		成物点に関するエレハ		R1	目標値		10	10	10	10	10		/ <del>2</del> = +#	
	OS	901 感染症に関する正しい 知識の普及	講習会開催数	40	実績値		5	5	5	5			健康推進課	
						X				× 未達成		以上	2017	
		202 感染症を予防する生活	   肺がん・肺結核検	H30	目標値		36.0	36,0	36.0	36.0	36.0	%	健康推	
	OS	902 窓帯症を169 312/0	診受診率	11.4%	実績値		10.3		R8.2公表	R9.2公表		1	進課	
						X		× 未達成				以上		
	~	災害時の感染症予防に	災害時医療救護等	R1	目標値		2	2	2	2	2		健康推	
	Oć	903 ついて関係医療機関と の連携強化	対策連絡会の実施   回数	20	実績値		0	1	2	2		15.1	進課	
		- /=//30110	凹奴	D4		X		× 未達成		〇 達成	4	以上		
	00	感染症対策を踏まえた	避難所運営マニュ	R1	目標値		1	1	1	1	1		危機対	
	Ü	904 避難所運営マニュアル の整備	アルの見直し回数	10	実績値		1	1	1	1			策課	
		0901 保健委員の全員研修会	クで中佐 後半の町	ながならまり一		0	達成	は 達成	〇 達成	O 達成	なる中がに	以上	- t=	
		0901 休隆安貝の主貝研修2	5 C 夫加。 1友干の町	修力'机空二	I	ルス	、念条症	加入的皿の	にめ、中田に	より10回夫	地寸たから	山にる	うた。	
		0902 推計対象者数28,540	つ   巫診老けのフ/	11 \ \	10年度は		十九日 75.	平 シャ がば、	ったものの	今知り年度	け刎歯とた	- t=	<u> </u>	
	R	後、感染対策を強化し					ノ 何 (:	文砂石刀侧	ンにも0000 <b>、</b>	口削り牛皮	は気油にな	. اره	フ	
	3 0903 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止													
		3000 4/12 3 3 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	M未准加入的正○77C	ο <b>υ</b> 1 <u>11</u>										
	0904 4月に実施する避難所運営訓練に合わせ、前年度の運用結果等を考慮し最新の情報に改訂している。													
		0901 保健委員の研修会で												
		「正しい手洗い方法」				うった	。今後	、福祉施設	等から講習	会開催の依頼	質があった際	祭には	、健康	
		の社会的決定要因に	<b>き慮しなから開催力</b>	法を検討し	/C61<.									
	_	0902 推計対象者数26,146	6人、受診者は2,71	3人。令和	]3年度に	続き	微増と	なったが目	漂には遠いの	Dで、今後に	はSNS等も流	舌用し	た受診	
	R 4	勧奨を図っていく。												
	4	0903 新型コロナウイルス原												
		された中で、健康の初る。	任会的決定要因を考	慮しなから	開催出米	494	つに力	法を検討し	、51さ続さ	<b></b>	引との連携5	亜1じに	<b>労</b> め	
		0904 4月に実施する避難所	所運営訓練に合わせ	. 前年度の	運用結果	等を	考慮し	最新の情報	に改訂してい	ハる。				
				( 133 1 )2 0 2	, XII , I I I I I I I I I I I I I I I I		,,,,,,	427710211311		, , , , , ,				
		0901 目標値には届かなか	ったが、保健委員対	象に感染症	に関する	支部	研修を	5回実施し	たほか、担	当保健師から	5は日常的に	こ事業	を実施	
_		する中で感染症対策に	こ関する周知啓発活	動を行った	-0									
年		0902 令和8年2月公表												
度	R													
بحرا	5	0903年2回開催し、目標1	こ達した。今後は、	連絡会を通	じ感染症	予防	に鑑み	た訓練内容	の検討や資格	幾材の購入に	こついて関係	系医療	機関と	
評		連携を図っていく。												
,		0904 新型コロナウイルス原	惑染症が5類感染症/	こ引き下げ	られたこ	とに	より、	避難所連営	マニュアルを	を改訂した。				
価		0004 昨年時 1日11 1日2	<b>モロの川坂クにマ</b> 井	77.A.E.E.E			·>.+~	クタログニ	0 12 I= kk -==	#77	+/- ++	ΦΦ	O +#	
		0901 昨年度と同じく保健領値には届かなかった								第省会のPR	を付ったも	0)0),	日悰	
		- 1回には油がながうだが 0902 令和9年2月公表	この、休性女貝の心	判り合せ兄	追し、失	こした	凹にノ	VICIRED 9	<b>ට</b> ං					
	R	しらしと 巾削342月公衣												
	6	0903 年2回開催し目標を記	幸成した 今後は	成边症予防	タテーン	71.7	た訓練	内容につい	て連絡会では	金討するとと	- 夫.厂 関係	<b>系</b>	機関と	
		も情報共有を図ってし		心未近り別	۷ ری		//この川川木	10 JU	(上心五 (1	V03 A CC	_ ()()()	11亿/京	が対し	
		0904 4月に実施する避難		、前年度の	運用結果	等を	老庸し	最新の情報	に改訂して	小る。				
				. 133 1750	,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ت ں۔			5,65 0 00					

担当課	建設課・危機対策課・産業課			施策1-20	D全指標達成	文率	
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2	総合治水対策の強化	指標数	15	15	15	15	15
月指す姿	市域で水害や土砂災害が発生しない	達成数	12	13	13	13	0
日1日9安		達成率	80.0%	86.7%	86.7%	86.7%	0.0%

			指標数	2	2	2	2	2		
1 1	成果指標(KPI)		達成数	1	1	1	1	0		
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
<b>←</b> =		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果 指標		R1	目標値	0	0	0	0	0	件	
1818 1	一切川グ油(の件数	〇件	実績値	0	0	0	0		1+	建設課
•		U1 <del>11</del>	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			
月標	直 雨天時における河川の流下能力・危険箇	所の把握、	、時間雨	量50mm	に対応でき	る河川及	び水路の計	画的な整備	<b>莆、</b> 汽	川等
	の補修に関する市民要望を迅速かつ的確	に対応して	て被害を	無くす。						
考え	方									
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果		R1	目標値	35	36	37	38	39		
指標	定筒所数		実績値	34	34	34	34		か所	建設課
2		34か所		× 未達成			_ :		以上	X 0 X 0 X
口抽	i 急傾斜地崩壊危険区域指定の促進、事業	  こおける <del> </del>	0					単配い トン		
目標の	e 心识外地的场心埃色场归处VJK低、争未	10017		くしい言語で	にコハドン	女王ソる回		回が以上し	- 9 D	0
考え	方									
370	1 (実 績 評 価 ) ・随時、危険箇所の修繕、溢	マ帝記のみ	収を行り	\ <b>±</b> t +	声はにおけ	Zパトロ_	川 左宇佐し #	=ニ上に ト //	১ ংনা	1117378
	水路の溢水による被害を防止		(19で1JV	i, d/c, 八	、「この」」「白色」	9/ \  \	ルを美地した	د د د اده ۱	)、川	
			555 A +M+E	マナケー ロ	₩65 <i>t</i> ≈ 4#±±	笠田 ニカマム	7			
R	(次年度修正点)・大雨時のパトロールを強化	し、心映固	リアノソ治路	を行い、日	吊的な維持	官性に劣め	<b>ි</b>			
3	2 (実 績 評 価 )・要望箇所における地元調整	ち仁ったか	′ <del>≖</del> ++	その日音が得	これず 七	中に云こち	かった			
度	2(夫 槙 評 画 )・安全固別における地元調整	(21) DICI)	'、'文'無'色	907回忠小,43	られら、指	たに主りなん	かうた。			
/X		70E##	/ /// O TEN #3	1 + /1		<b>ルナルフィン</b>				
	(次年度修正点)・地元説明会を適宜行い、全	しの安金者	寺の理座	を侍し、区	. 奥の指定促	進に劣める。				
		マ帝記の3	収を行り	\ 与各性规	たけ知しパ	トロールだ	主体」たこと	LIT FIO ST	ना।। इद	フドッレワタ
	イグス 複 評 価 / ・ 過点、危険固別の修繕、益 の溢水による被害を防止した	小回別の以	(19で1JV	1、 ×13/1月前	で注究しハ	トロールを	美地したこと	ニにみり、バ	אוווא	
			<del>2</del> 70全年10	の加根を行		ナ。4#+±5年T田	ーかムフ			
R	(次年度修正点)・定期パトロールを強化する	CCtic,	心陕固以	が出握を行	71、日常的	な維持官性!	こ分のる。			
4	2 (実績評価)・要望箇所(見晴町)におい	て 熱図庫	10000000000000000000000000000000000000	治治病分学市	**************************************	(比中促进)	の西北た名	= = =		
度	2(美 瀬 評 画 ) * 安全回別(兄明町)に63V)	し、肝凹宗	一点的	胡城刈來事	未貝裲助立	(相足促進)	) の安水で1	J )/c。		
100	(次年度修正点)・地元説明会を適宜行い、受	大学生の明	一般を得っ		た炉準する					
	(次年及修正点)・地元武明云を廻且1177、文	回日守い荘	かい でき	、区域相处	. 全定性のの	0				
	1(実 績 評 価 )・危険箇所の修繕や溢水箇所	の30枚を2	(中に)	・レナに 与	色性 起 た 注	担しパトロ	_ !! ち宝佐!	たことに	F 10	रेता।। र
	「「(美 槇 評 価 )・危険固別の修繕や溢水固別び水路の溢水による被害を防		EEIJ JC	ر حاد، کا	水田取で注	ואט און	ルで天心し	JILL CILD	トリ、	XIIIK
	(次年度修正点)・定期パトロールを強化し、		加張た名	11. 口觉的	た維持管理	一奴かる				
R 5	(次年及修正点) ・ 定期/ (「ロールを強化し、	心灰色的心	ガロ推る1、		は無は日圧	にもめる。				
年	2 (実績評価)・要望箇所(見晴町)におい	ア 熱照庫	1	1品博动等車	*	(指定促進)	)の更求なる	テった		
度	2、关顺叶画/ 安全国//(允明或/1000/1	TO THE TO			未具備助业		の安水と「	J //C°		
	(次年度修正点)・地元説明会を適宜行い、受	女老笠の珥	一般を得て	- 区域指令	た促進する					
	(水井皮修正点)・地方記切去を廻直打り、文	皿日子の圧	また THO THO THO THO THO THO THO THO		は医師の	0				
	1(実 績 評 価 )・危険箇所の修繕や溢水箇所	の改修を渡	育行うと	・ともに 気	免情報を注	組しパトロ	ールを宝施し	たことによ	- M	ेता।।। उ
	び水路の溢水による被害を防		EHIJ JC	C OIC, X	今旧刊で江	IT O/ TI	ルで大肥し		N-01	XIII
	(次年度修正点)・定期パトロールを強化し、		世場を行	11. 口学的	た維持管理	に奴かる				
R 6	一次十尺厚正点 - た粉ハーロールで出して		ハロ注で1.		るませば日日	にかいる。				
年	2 (実績評価)・要望箇所(吉田)において	<b>静岡</b> 目 全	個創制品	陸対策車業	書補助全 (	指定促准)	の要求を行っ	った		
度			ハッス・ハインピカル	マンストリング	(京)	18 VE IVE VE / (	DENCIJ.	J/C0		
	(次年度修正点) ・地元調整を適宜行い、受益	老の理解を	得て「	がおった。	准する					
		ロリュエ州で	1 <del>3</del> C, 2		にとうる。					

					指標数		13		13		13	1	13	13	※ 基	本的な取
2	1	基本的な取組(2桁コード)	<ul><li>主た内容(4桁)</li></ul>	1-K)	達成数		11		12		12		12	0	組	<ul><li>主な内</li></ul>
_	2		T-0130 (+111-	, , ,	達成率		1.6%		2.3%	91	2.3%	9	2.3%	0.0%	. 谷( 況	の達成状
		\			指標数		5	0.	5	0.	5	<u> </u>	5	5		
(	<b>D</b> 1	河川及び水路の整備	足進及び維持	達成状況	達成数		5		5		5		5	0		
	<b>.</b>	管理		X1/24/200	達成率	10	0.0%	10	0.0%	10	0.0%	10	00.0%	0.0%		
		 主な内容	管理指標	基準値	21/2/ 1		R3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
				R1	目標値		100		100		100		100	100		3
	0	101 流水能力・危険箇所の	大雨後のパトロー		実績値		100		100		100		100		%	建設課
		把握	ルの実施率	100%		0	達成	0	達成	0	達成	0	達成			
		時間雨量50mmに対応		R1	目標値		1		2		3		4	5		
	0	102 できる河川及び水路の	整備河川数	4.>=-1.11	実績値		1		2		6		6		河川	建設課
		計画的な整備	(累計)	1河川	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		河川等の補修に関する	修繕等の処理率	R1	目標値		100		100		100	_	100	100	0/	
	0	103 市民要望への迅速かつ	(地域応急処理事	4.000/	実績値		100		100		100		100		%	建設課
		的確な対応	業)	100%	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成			
				R1	目標値		1		1		1		1	1		
	0	104 事業における地域住民	県事業における地	0/15	実績値		2		1		1		1		件	建設課
		しずとの調整	元住民の調整件数	O件	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
				R1	目標値		1		1		1		1	1		
	0	105 国県への要望活動の推進	県事業の実施回数	4.0	実績値		2		1		1		1			建設課
		進		10	評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		0101 大雨時におけるパト[	コールの実施により	、危険箇所	等の把握						理に努	める	ことが	できた。		
		O102 普通河川ゆがわ及び卸	鎌田地内水路の改良	事業につい	ては、総	継続し	て実施	して	いる。	鎌田	久保方	地内	水路のご	改良事業に1	ついて	は、単
	R	年度で整備を完了した														
	3	0103 要望等に対し、現場														
		0104 二級河川の維持事業の		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			1-9 1	1. 40 1			-	行っ	た。			
		0105 二級河川伊東大川(村														
		0101 大雨時におけるパトロ														
	_	0102 普通河川ゆがわ及び銀	鎌田地内水路の改良	事業につい	ては、維	₭続し	て実施	して	いる。	吉田	地内水	路の	改艮事	業については	は、単	年度で
	R 4	整備を完了した。	₽ <i>т</i> ₩₽₹/ <del>*</del> ѣŏ	ナロタにな	11、本口	7-4	++± <u>~</u>	77-01	フムフー	レガ	ブキヒ					
	4	0103 市民要望に対し、現地 0104 主要地方道伊東修善									じるに	0				
		0104 主要地力追伊来修普。		<u> </u>	沒法工事	۔ ∟ا	ハノて高原	発で	21J 7/2	.0						
		0103 二級河川烏川(依極)		合除笛可	等を押垢	31,	口偿占	i 給 •	維持管	11111	奴かろ	<del>- }-</del>	ができた	=		
年					14.51P1	E O .	m th m	(1天 -	小田121日	上に	<del>2</del> 000		13 CO	<b>C</b> ₀		
		0102 普通河川ゆがわ、準月	30000000000000000000000000000000000000	地内水路の	池良重業	<u> </u>	いては	- <u>\$</u>  }	と続して	宝施	1,711	<u></u> ろ	空川町-	一丁日批内7	k路の	改良事
		業については、単年原			WK TA	\IC _	V 1 C 10	~		\.\!JU	0 (11	<u>ۍ</u> ه	_//IW]-	אניסינים ב –		以以子
度	R	0103 市民要望に対し、現場		-	い、適切	口な組	持管理	に努	いあるこ	とが	できた	0				
	5				, ,_ ,		_, 51				- 5,0	-				
評		0104 国道135号(富戸地	也区)の市道との取	り合い部に	おいて地	権者	さとの調	整を	行った							
01																
		0105 二級河川大川 (根固め	カブロック・伐採)	の整備を行	った。											
価																
		0101 大雨時におけるパトロ	コールの実施により	、危険箇所	等の把握	を行	fい <b>、</b> 日	常点	検・維	持管	理に努	める	ことがて	できた。		
		0102 普通河川ゆがわ及び鉛	鎌田地内水路の改良	事業につい	ては、組	≝続し	て実施	して	いる。							
		0400 +0##25#1	BIM=017 7 1/44 +7 1-1-+7	+045C	. / / / / - / - / - / - / - / - / - / -	n <del>/-</del> /-	+++ <del>///</del> +=	1- tr	7.4.フー							
	R 6	0103 市民要望に対し、現場	易唯 認及 ひ 業 者 依頼	を早思に行	い、適切	深らこ	ŧ 持官 塂	三に劣	80000	ここか	でさた	0				
	0	0104 要望箇所の地元調整を	を行った													
		0104 女主回別の地儿調金で	ユロ ノた。													
		0105 二級河川烏川(根固)	ブロック)の整備を	行った												
				13 2100												

		、砂防及び急傾斜地崩り	はは、主義の		指標数	3	3	3	3	3				
(	2	, 哟的久O志顺料地朗 - 促進	依  八世 <del>  未</del>   八	達成状況	達成数	2	2	2	2	0				
					達成率	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
		20.4 急傾斜地崩壊危険区域	年間指定箇所数	R1	目標値	1	1	1	1	1	か所			
	0	201 <sup>                                     </sup>	*指定箇所は事業	Oか所	実績値	0	0	0	0		13 171	建設課		
		187C 67 KC ZE	化決定	0/3///	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上			
		200 事業における地域住民	県事業における地	R1	目標値	1	1	1	1	1	件			
	O:	202 学来における地域に氏	元住民の調整件数	O件	実績値	1	1	1	1		17	建設課		
			70ED(0)00ETT &	OIT	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上			
		日月 4 の亜胡活動の推		R1	目標値	1	1	1	1	1				
	0	203 国県への要望活動の推進	県事業の実施回数	10	実績値	2	1	1	1			建設課		
		~			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上			
0201 要望箇所における地元調整を行ったが、受益者の同意が得られず、指定に至らなかった。														
	O201 安望箇所にあける地元調整を行うたが、受益者の问息が得られず、指定に至らながった。   O202 要望箇所における地元調整を行った。													
		0203 砂防事業として萩沢								続中である。				
		0201 要望箇所(見晴町)							った。					
	R	今後も砂防事業及び続			周知等を	と行い、各事	業の促進に							
	4	0202 砂防堰堤の浚渫事業に			L <del>F F </del>	*/								
年		0203 急傾斜地崩壊防止事業						0 <del>= 1 + /-</del>	+ + × ± 1	# // A th // // //	1750	++		
·		O2O1 要望箇所(見晴町)に た。	こがいて、静岡県思	傾斜地朋琛	刈束事第	美費補助金(	指定促進)	の要求を行	つにか、事	美化沢疋に	る至ら	なかっ		
度	Ь	/こ。   0202 砂防堰堤の浚渫事業	こて 地元細数な行	った										
=111	R 5	0202 1990  堰堤の液沫事業   	こし、地元調金を打	うた。										
ē₩		0203 急傾斜地崩壊防止事業	学として 水 数 刍 傾	斜州崩壊が	(第事業力	で完了した								
価		0200 忠顺州地朋场的正学。	未として、小冶心順	かけょじカカュスへこ	スサ末ん	اران ا								
ш		   O2O1 要望筒所(吉田)に1	ついて、静岡県急傾	斜地崩壊が		<b>計補助金(指</b>	定促進)の	要求を行い	継続協議の	±である。				
				5. 12 CHING - 5K/1		(1C	J, C  /C/C / 0)	_ J.C JV !!	* *** THIS O INDOUSE	. 2000				
	R	0202 要望箇所(吉田)に	ついて、地元調整を	行った。										
	6													
		O2O3 急傾斜地崩壊防止事業	業として、吉田急傾	斜地崩壊対	策事業に	こついて継続	協議中であ	る。						

					指標数	1	1	1	1	1			
	03	3 風水害時危険箇所の周	<b></b> 国知	達成状況	達成数	1	1	1	1	0			
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
			新たに土砂災害警戒	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	D-100 ± ±	
0301 のハザードマップの作成   域住民へのハザード   100%												危機対 策課	
	及び配布並びに活用 マップの配布率 100% 評価 ○ 達成 ○ 達成 ○ 達成 ○ 達成												
	R 3	0301 土砂災害警戒区域の指 に作成し全戸配布を行				'し、ハザー	・ドマップが	掲載された	防災総合ガイ	イドブックを	を令和	]2年度	
年度	R 4	O3O1 土砂災害警戒区域の指 に作成し全戸配布を行				'し、ハザー	・ドマップが	掲載された	防災総合ガ-	イドブックを	を令和	]2年度	
河評価	R   0301 土砂災害警戒区域の指定については合和元年度末で一旦完了し、ハザードマップが掲載された防災総合ガイドブックを令和2年度												
	R 6	L / L / L / L / L / L / L / L / L / L /					和6年度に	最新のハザ	ードマップヤ	ゆ各種防災情	青報を	更新し	

					指標数	1	1	1	1	1					
(	04	4 風水害を想定した訓	練の実施	達成状況	達成数	0	1	1	1	0					
					達成率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%					
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
		<b>ル</b> 院・十小巛字訓练の	水防•土砂災害訓	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	<del>在</del> 北線立士			
	O	401 水防・土砂災害訓練の 実施	「	100%	実績値	0	100	100	100		/0	危機対制			
	R	0401 新型コロナウイルス感染症の影響により訓練を中止した。													
	3														
年	R	0401 十足区をメイン会場								以区をメイン	ソ会場	に選定			
· 度	4						1 .24.0 0	,,,	<u> </u>						
評	R	0401 宇佐美区をメイン会								亍政区をメ-	イン会	場に選			
価	5														
	R											ある行			
	6	政区をメイン会場に	選定し訓練を実施す	ることで、	住民の防	) 災意識同上	に劣めてい	く。(令和	/ 年度は松原	泉区を予定)					

														_	
	_		,,		指標数	3		3	3			3	3		
(	)5	<ul><li>山林の機能保全の促送</li></ul>	<b>里</b>	達成状況		3	,	3	3	/		3	0		
		S			達成率	100.09	6	100.0%				0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3		R4	R5		F	R6	R7	単位	担当課
	~ .	- 0 4 /7 PO/PT-C = +PT-PT	.1.44.001 —	R1	目標値		1	1		1		1	1		AUK = CD
	Ot	501 危険個所の把握	山林パトロール	年1回	実績値	0 1+ 4	1	1	0 )+	1		1		ļ	産業課
						○ 達成			〇達		0	達成		以上	
	0.	=00 事業における地元住民	静岡県事業におけ	R1	目標値		1	1		1		1	1	件	<del></del>
	U	502 事業における地元住氏 との調整	る地元住民との調 整件数	年1件	実績値	O '##	1	1	O /=	1		1		15.1	産業課
			<b>歪什奴</b>	D4	評価	〇 達成			〇達		0	達成	1	以上	
	$\bigcirc$	503 国県への働きかけ	静岡県への要望件	R1	実績値		1 2	1 1		1		1	1	件	産業課
	U	003 国県への割さかり	数	年1件		〇 達成			〇達		0	達成		以上	生未味
		0501 市内の山林パトロー!	した宝体し 岩茂合	冷笛がの担	0		,	) 连队	U E	13%	0	连队		以上	
	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。														
	R 0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。														
	R   0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。   3														
		0503 静岡県に治山事業の	要望を行った。												
		0501 市内の山林パトロー/	レを実施し、崩落危	険箇所の把	握に努め	た。									
	2.0	0502 治山事業要望箇所にて	ついて、地元住民と	現地調査等	を行った	-0									
	4		5-10-2												
		0503 静岡県に治山事業の要	異望を行った。												
年		0501 市内の山林パトロー/		除笛頭の世	場に奴み	た									
			いて大心し、朋冷心	火山がいだ	近に力り	ارده									
度	R	0502 治山事業要望箇所にこ	ついて、地元住民と	現地調査等	を行った	<u> </u>									
評	5			orconse o	C13 270	-0									
01		0503 静岡県に治山事業の	要望を行った。												
価															
	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。														
		0502 治山事業要望箇所にて	ついて、地元住民と	現地調査等	を行った	-0									
	6		五六月 ナイニー ナ												
		0503 静岡県に治山事業の勢	党室を行った。												

担当課	危機対策課・水道課・下水道課・建設課・建築住宅課・産業課			施策1-30	D全指標達成	<b>文率</b>	
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3	災害に強い建築物や公共施設の整備	指標数	14	14	14	14	14
月指す姿	建築物の耐震性等の安全性が確保されている	達成数	6	7	9	7	0
日相9安		達成率	42.9%	50.0%	64.3%	50.0%	0.0%

			15.12.16						- -					
4 6	、 戈果指標(KPI)		指標数 達成数	3 2	3	3	3	3						
1 8	4未担保(NPI)		達成率	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	}					
		基準値	Æ/X1	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果 指標		R1	目標値	100	100	100	100	100	%	<del>在</del> 據立士				
1日行	117月建築物の側長10年	95.3%	実績値	95.2	95.2	95.1	95.8		/^	危機対    策課				
					× 未達成			)	- /T-U:					
目標						め、地震	災害時によ	がける建物の	の倒り	農等に				
考え	よる人的板音を防くため、17有連築物の		21007	るに設定し	<i>'ا</i> دَ،									
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果		R2	目標値	2	4									
担付	(累計)	つか所	実績値	4	5	6	8		תמיט	建設課				
					〇 達成		〇 達成		以上					
目標		ける、港	<b>弩整備</b> を	と  だ  だ  だ  だ  だ  だ  だ  だ  だ  だ  だ  だ  だ	管理者(前	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	要望した美	E.他固阶数·	を年間	32箇				
考え														
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課				
成果		R1	目標値	83.5	84	84.5	85							
1日信		83%	実績値	83.9	84.3	84.6	85.1		70	,				
							〇 達成							
目標					5%の上昇	か催認でき	きたことか	ら、引き総	おきず	0.5%				
		_日標値を	設定し	に。										
3/6/		営新山住宅	2棟を月	用途廃止した	ことにより	耐震化率を	計算する際	に生じた微	差でを	あり、				
	現状に変化はない。		, _ ,,, _ ,,	5,2,011 0 1		103/2010 1 0	.01515 012	0,2,5		,				
	現状に変化はない。 (次年度修正・引き続き市有建築物の耐震化率100%を目標として計画を推進していく。													
	現状に変化はない。													
R 3	1 (実 績 評 価 )・数値の減少については、市営新山住宅2棟を用途廃止したことにより耐震化率を計算する際に生じた微差であり、現状に変化はない。 (次 年 度 修 正 ・引き続き市有建築物の耐震化率100%を目標として計画を推進していく。   2 (実 績 評 価 )・白石防波堤延伸、浮桟橋改良、小浦防波堤改良、第一防波堤改良(測量・設計)事業を行った。   (次 年 度 修 正 ・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していきたい。													
年	83% 実績値 83.9 84.3 84.6 85.1 以上 名課   「評 価 ○ 達成 ○													
度	2か所													
	接   接   接   接													
	日本													
	(火 年 度 修 止 ・ 耐農補強の必要性や補助金	の活用に刈	19 6 召 差	もと継続し(	、進めていく	ことで、氏	间任名の画	養化率の	上を	최승.				
	1(実績評価)・令和4年度については市有	建築物の状	況に変化	とはなく前年	F度と同じ数	値となって	いる。							
		,	.,											
	(次年度修正・引き続き市有建築物の耐震	化率100%	を目標の	として計画	を推進してい	<b>\&lt;</b> .								
_	2. (字 结 冠 伍 )。 负军防冲担死仲 浴样棒边	收 笠_匠	:œ+□ 3/1 F	9 小油吃	b:835亩 15	加吉猷岩井	3カウ 左 行っ	た						
R	2(天 槙 評 岫 ) •日旬的波埃延冲、浮栈倚以	修、	汉堤以	2、小油奶源	又近以反、汤	川宋融戶以	以及2117	ارت.						
年	(次年度修正・引き続き、伊東港整備事業	の推進につ	いて要望	望を継続して	こいきたい。									
度														
		56年以前	iの木造信	主宅の補強コ	事に加えて	解体工事が	増加したこ	とで目標値	を上回	<u></u> ョっ				
		の注用に対	オス改名	*左継結1.7	*************************************	ことで 日	問住空の耐	雪化玄の向	  ト友国	タス				
	(グ 千 及 停 正 ・ 間 最 間 強 の 必 安 丘 や 間 ぬ 立		19 007		に延めていて		'IPITT C\\	辰旧年の凡	<u>ا ت ـــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>	7.00				
		カイポート	亀石の角	<b>犀体完了によ</b>	い、耐震化	率を計算す	る際に生じ	た微差であ	り、I	見状に				
		<b>=</b> 0	/ <del></del>		<b>7</b> - <b>M</b> 1 1 - 1 - 1 - 1	L=+0	- /- ··	,						
	(次年度修止・引き続き、市有建築物の耐	震化100%	6を目標の	として関係	<b>  き課と連携、</b>	情報共有を	さ行っていく	. 0						
R	2(実績評価)・浮桟橋改修、第一防波堤改	良、宮町船	揚揚改修	多を行った										
5	と		1 XD (()*()*()*()*()*()*()*()*()*()*()*()*()*	J C 13 J/C										
年	(次年度修正・引き続き、伊東港整備事業	の推進につ	いて要望	星を継続して	ていく。									
度		<b>⊕</b>	1-tr = -	r 10+0=	5 <del>+ 1</del>	コンフルエナー	* F / D = =	はたしロフ	- 1-	5/°-7=+:				
	3 (実績評価)・昭和56年以前の木造住宅た。	の無法工事	ルレルス(	、际却上争	って増加して	いる傾回に	.めり、日標	旭を上回る	LC7.	י נפ				
	(次年度修正・耐震補強の必要性や補助金	の活用に対	する啓乳	発を継続し、	戸別訪問を	積極的に進	めていくこ	とで、民間	住宅の	の耐震				
	化率の向上を図る。													
	1(実績評価)・下水道課の玖須美中継ポン が上昇した。	ブ場の耐震	化工事兒	記了及び北中	学校旧校舎	2棟(耐震	性無し)解	体完了によ	り耐湿	<b>曼化率</b>				
	か上昇した。 (次年度修正・引き続き、市有建築物の耐	<b>重化1○○</b> ○	な日堙.	トレア関係な	ス理レ油堆	情報サ左右	そ行っていく							
	(グサダドエ・コロボビ、14万炷柴物の側	展16 100%	02日际(	こして国家に	コの木に注抗、	月刊以六日で	۲۱۱۷ ر ۱۱۱	. 0						
R	2(実績評価)・令和6年度までに白石防波		護柵補修	8、浮桟橋改	攻修、第一防	波堤改良、	小浦防波堤	• 物揚場改	良、丿	II奈臨				
6	港道路・港湾施設改良を行っ			D. 4- 400										
年度	(次年度修正・引き続き、伊東港整備事業	の推進につ	いて要望	望を継続して	にいく。									
反	3(実績評価)・昭和56年以前の木造住宅	の補強工事	にかって	、除却丁重	も増加して	いる傾向に	あり、日樺	値を上回る	ニナナ	ができ				
	3 ( 美順計画 ) ・	マンロロエエ手	,CJU/L (	トルカル上寸		ا المالخالص ا . ↑		له تقالت عار	/	,				
	(次年度修正・耐震補強の必要性や補助金	の活用に対	する啓発	発を継続し、	戸別訪問を	積極的に進	めていくこ	とで、民間	住宅の	の耐震				
	化率の向上を図る。													

					指標数	11	11	11	11	11		本的な取
2		基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁)	コード)	達成数	4	5	7	5	0		・主な内 の達成状
					達成率	36.4%	45.5%	63.6%	45.5%	0.0%	況	
		旧耐震基準市有建築物	かの耐悪化計		指標数	3	3	3	3	3		
	01	画の充実・耐震化整備		達成状況	達成数	0	0	0	0	0		
		回りが大・間長に歪り	用任任		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		旧耐震基準の市有建築	未耐震化市有建築物	R1	目標値	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0	%	危機対
	0	101 物耐震化の具体的な進	(12棟)の耐震化実施	0%	実績値	_	0	0	8.3			(根別) (大課)
		め方の検討・決定	方法の決定率	0 70	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	NUX.
			市有建築物の耐震診	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対
	O.	102 耐震診断の実施	断の実施率	86%	実績値	86.0	86.0	86.0	86.0		/0	危機
			(未診断 26棟)	00/0	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			水味
		継続活用する旧耐震基	旧耐震基準市有建築	R1	目標値	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	%	77 1664-1
	0	103 準市有建築物の耐震補	物の耐震補強及び建て替え等の実施率	0.0/	実績値	0	0	0	8.3		/0	危機対
		強及び建て替えの実施	(12棟)	0%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	策課
	4	した「伊東市が所有3 0103 の活用を各課へ促し、 0101 市有物件の耐震化診断 く、第定した「伊東下 0103 交付金の活用を各課人	各指標の目標値の 所及び補強、建て替 分の1が補助される おが所有する公共建	達成を目指 え等の実施 県の「地震 築物の耐震	話してい。 西につい 夏・津波 夏化計画_	く。 ては、建物の 対策等減災3 」のとおりに	の所管課の半交付金」の活	削断となって 5用を各課に	いる。耐震	診断及び補 るが、事業	強、影費が	建て替大き
年度評価	R 5	0103 N、各指標の目標値の       0101 令和6年度に「玖須請課に行うとともに各請の       0102 市有建築物の耐震化調度       関係各課に行うととも	かの1が補助されるよい状況である。今か達成を目指してい 乗中継ボンブ場」の 果とも情報共有を行 多断、補強及び建て に情報共有を行い	県の「地震 後について く。 耐震改修だ い、目標値 替え等のま 、目標値の	<ul><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)</li><li>(できる)&lt;</li></ul>	対策等減災3 き続き交付3 こことにより を目指してい いては、建物 目指してい。	交付金」の活金の案内を開かる。 つ、1棟分類 いく。 物の所管課の く。	5用を各課に登場係各課に行動のとなったの判断となったの判断となったの	字内してい ううとともに こ。引き続き っている。3	るが、事業とも情感を付金の案	費が設報共産の	大き有を行り
		0103 令和6年度に「玖須i 課に行うとともに各i						増加となった	この引き続き	交付金の案	内を	関係各

		E2 2 70+++400 1 + 40 24 00			指標数		3		3		3		3	3	1	
(	)2	, 緊急避難路や輸送路の	り催保のため	達成状況	達成数		3		2		2		2	0	1	
		の港湾整備の推進			達成率	100	0.0%	6	6.7%	6	6.7%	6	6.7%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		F	3		R4		R5		R6	R7	単位	担当課
				R1	目標値		50.0		62.5		75.0		87.5	100	%	
	02	201 白石防波堤延伸事業	年度別進捗率	40%	実績値		50.0		50.0		50.0		50.0		] ^0	建設課
				4070		0	達成	X	未達成	X	未達成	X	未達成		以上	
				R1	目標値		2		2		2		2	2	箇所	
	02	202 港湾施設改修事業	改修箇所数	2箇所	実績値		2		4		3		5			建設課
					評価	0	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		港湾整備のための国・		R1	目標値		1		1		1		1	1		
	02	203 県への働きかけ	要望等回数	10	実績値		1		1		1		1		_	建設課
					評価	_	達成	0	達成	0	達成	0	達成		以上	
		0201 全体計画L=66m(ク	ーソンN=4函)の	うち、L=3	3m (ケ	ーソ	ンN=2	(图)	が完了	した	-0					
				->m+B /+C+	F#IPE-2 / ,	o.i 👄	=0.=1 +	-,-	+							
	R 3	0202 小浦防波堤(川奈地區	×) 以及及び第一队	がした。	F地区))	則重・	設計を	全仃	つに。							
	3	0203 伊東港湾整備事業の持	#准として 白石階	油焊延伸車	業の目	H=F	せ 下ろ 7 ド 毎	日本:	写	EM.	主油分割	<u>₹</u>	治化につ	ルアの更な	を行	った
		0200 伊米尼冯昰佩罗来6万		///文块延冲事	<del>**</del> **/+;	マロノしゃ	A/X U E	エノ しょ		± ∪ J	ロルメンソ	2003	出しにン	/VIC0) <del>S</del> E	دا تے =	ارد،
		0201 全体計画L=66m(ク	ーソンN=4函)の	うち、I =3	3m (ケ	٠–١٦	ンN=2	)函)	が完了	Ut	- (繰越	事業	<b>≜</b> ) 。			
		今後も早期完成に向			· · · · · ·				.0,05	0,0	- (1911)	J -/	~ 0			
	R	O202 浮桟橋改修、第一防流	皮堤改良、小浦防波	堤改良、湯	訓東離海	= 提己	対良を行	うつだ	た。							
	4															
		0203 伊東港湾整備事業の	推進として、白石防	波堤延伸事	業の早期	朝完成	<b>戈、観</b> 分	七浮	桟橋及び	が港	弯施設の	)高》	皮対策の	強化につい	ての	要望を
年		行った。														
		0201 全体計画L=66m(ケ いく。	ーソンN=4函)の	っち、L=3	3m (ケ	ーソ	ンN=2	'(图)	が完了	した	が、今	後も	5早期完	或に回け要!	望を行	Joc
度				#日7 <i>h lb た に</i>	+-											
=π	R 5	U2U2	文	場以修せた	<b>ブラ</b> た。											
ō <del>"</del>	J	O203 伊東港湾整備事業の持	#進として 白石階	油焊延伸車	業の日	胡宝点	サ 毎日ン	七河;	建棒乃7	心并	李体記の	一戸:	皮が等の	強化につい	ての	更切を
侕		「0200 伊米尼尼亜州事業の7 「行った。		///文块)连 甲芽	~ <b>★</b> ♥ノ干ゥ	マコノレル	◇、 圧兀ノ	U/ <del>J</del> -1		7	<b>-</b> #888€.	기미/	\X\1\X\0\	) X 10 1C 2V		女王で
, w		0301 全体計画L=66m (ク	ーソンN=4函)の	うち、L=3	3m (ケ	- <i>'</i> -' <i>'</i>	ンN=2	(阿	が完了	した	が、引	き続	視早き	完成に向け	要望を	行
		い、令和10年度の完					_									
	R	O302 川奈臨港道路・港湾施	施設、小浦防波堤・	物揚場改良	、浮桟村	喬補修	多を行:	った。	,							

_									_				
			指標数	1	1	1	1	1					
	03 漁港機能維持のための整備推進	達成状況	達成数	0	0	1	0	0					
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%					
	主な内容を管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
	1460 ID A = 1 T IC # - 2 / 1 # T II # = 10.4	R2	目標値	_	-	_	_	1	件				
	0301   機能体生的型に全体   14     実績値   0   0   1   0   産産   産産   産産   産産   日本   日本   日本   日本												
	NOTE SET OF THE PROPERTY OF TH	_	○ 達成	_		以上							
	'''   評 価   -   -   O 達成   -   以上												
年度	R 0301 漁港施設の整備については、予算の 4 的な維持管理に努めていく。	確保等が厳しい	ため、乳	実施に至らな	ふかったが、	補助金の沿	5用などを視	野に入れな	がら、	計画			
	R   0301 令和5年度については、漁港機能増進事業補助金を活用して、八幡野漁港湾内道路の橋りょう改良工事をすることができたこと												
	R 0301 漁港施設の整備については、予算の 的な維持管理に努めていく。	確保等が厳しい	ため、乳	実施に至らな	ふかったが、	補助金の活	5用などを視	野に入れな	がら、	計画			

0303 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成及び港湾施設の高波対策の強化等についての要望を行った。

		L⊤	これ党等の再発(高	は事化) 車業		指標数	2	2	2	2	2			
(	Э4	_ エ I - の排	下水道管路更新(而 ***	別辰16/ 争耒	達成状況	達成数	1	1	2	1	0			
		0216				達成率	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%			
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
					R2	目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	km/年		
					1.Okm/年	実績値	0.7	1.3	3.3	2.0			水道課	
	$\cap$	101 <sup>效</sup>	物率的な管路の更新事	更新距離数		評価	, t - 1 <u></u>	, t	0 11	○ 達成		以上		
		101	業の実施	ZWIECHEXX	R2	目標値	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	km/年		
					0.20km/	実績値	0.42	0.42	0.45	0.18			下水道課	
	L.				年	評価	) !!	○ 達成	○ 達成	× 未達成		以上		
			水道管材等に使用され		不正が発覚	むし、全国	国的に水道資	資材が一時出	出荷見合わせ	となり、発	注済工事の	年度(	为完成	
	R	0404	が困難となった。【2		に甘べき祭	5 <b>+</b> - <b>^</b> 1	耐重性士徒-	ラたみ筑丁草	巨た行ってお	×n ≠=	4.1数計画が	で±	用本空	
	R 0401 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きょの耐震性も備えた改築工事を行っており、また、当該計画外でも調査等で緊急度が高い管きょは随時改築を行っていることから、令和3年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。													
	で緊急度が高い管きょは随時改築を行っていることから、令和3年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。 【下水道課】													
	H		施工筒所において、	<b> </b>	(道・ガス・	温泉)力	が混在しては	おり 配zk年	5世設スペー	- スが限られ	たことによ	· ИТ:	事准	
			に遅れが生じ、年度に											
	R 4	0401	7											
	4	0401	アポルトか坦スト:											
左			等で緊急度が高い管	きょは随時改築を行	っているこ	ことから、	令和4年	度においては	ま目標値より	も実績値か	「上回る結果	とな	った。	
年	H		【下水道課】 前年度までは、既記	小田=小笠笠∧見(郷に	上心生产は	ーナがら	日無トなり	<b>%3.±€⊤亩</b> ≠	がお田」フロ	一番店に立た	たかったか	٠ ۵:	的左左	
度			別年度までは、既認度は繰越工事が無く認										N13年	
	R	0.404	課】	11回でのウエ争が1	0/2221		エチカの座」	スカルチで1		示にとべて		-0 L	31/10	
評		0401	伊東市下水道スト	ックマネジメント計	画に基づき	できまる	の耐震性も何	備えた改築]	[事を行って	おり、また	、当該計画	j外で:	も調査	
			等で判明した緊急度が		改築を行っ	ている	ことから、彳	合和5年度に	こおいては目	標値よりも	実績値が上	·回る	結果と	
価			なった。【下水道課】											
		0401	繰越工事が無く計画									F.2 .	道課】	
	R	0401	伊東市下水道ストック											
	6		した緊急度が高い管 画した事業の実施を見											
			回した事業の美胞を く。【下水道課】	も心 ノににめ、日特	で住水(C	5.471.71	こ。フタは、	/ 异女王守(	元に学表り	主女ににっ	マートは出生で	עטאג.	CVI	
			( LINEW											

					II a I W III		_	_	_		,	
		既存木造住宅の無料で	付電診断及び		指標数	2	2	2	2	2		
(	25	が耐震補強工事の推進		達成状況	達成数	0	2	2	2	0		
		問展開張工事の力を進			達成率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		昭和56年5月以前に建築	個別訪問の実施	R2	目標値	3	3	3	3	3		2事祭()
	05	501 された木造住宅を対象とした 「耐震性向上の必要性」	回りあらりまた	1 🗇	実績値	1	8	28	9			建築住宅課
	L	の啓発			評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
		補助制度を活用した無	耐震診断件数及	R2	目標値	50	50	50	50	50	件	建築住
	05	502 料耐震診断及び耐震補	び補強工事件数	50件	実績値	41	125	77	121		- ' '	宅課
		強工事の推進	X IT E E E E	3017	評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上	
	R 3	0501     コロナ禍の緊急事態質がを見逃すことなくのを見逃すことなくのでは、       0502     コロナ禍により個別調和4年度は耐震診断がのでは、       0501     コロナ禍の中、計画調査・       引き続き個別訪問を行る。	固別訪問に回り、二 方問の啓発活動が洞 井数を増やすことを 通りに個別訪問を実	ロナ禍によ いたことで 心掛け、補	いては 、耐震 強工事	電話での啓発 診断の件数が こつながる対	発も行ってい が大きく減り 効果を図る。	١<.				
年度	R 4	0502 昨年度の対応を踏まえ を大きく上回ることが	え、DMの送付によ						耐震診断の	件数が上回	り目	票件数
評	R	0501 コロナ禍が明けたこと い、啓発を図る。										5 - 10
5 0502 戸別訪問の回数を増やしたことで、目標値を上回り、更に、1月の能登半島地震による問合せが増えた結果、次年度の耐震診の予約にもつながっている。												
0501 当初の計画より上回る個別訪問を計画したことで、目標回数を上回ることができた。引き続き個別訪問を行い   R											を図	<b>ర</b> .
	6	0502 戸別訪問の回数を増せ 耐震診断の予約にもつ		本列島で地	震が頻繁	繁に発生して	ていることの	影響から市	民の関心か	高まり、令	和7:	年度の

	当す姿	市民等が交通事故や犯罪が少なく、安心	して暮ら	達成数	8	11	10	10	0		
	日夕女	すことができる		達成率	50.0%	68.8%	62.5%	62.5%	0.0%		
				指標数	2	2	2	2	2	1	
4	<b>水甲华</b> 城	≅(KPI)		達成数	2	2	2	2	0		
' '	7/ <b>3</b> /1919	R (NF I)		達成率	100.0%		_	_	0.0%		
			基準値	足以十	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果		りにおける刑法犯認知件数(暦	R1	目標値	310				270		1=_0x
指標	年)			実績値	245			241	210	件	危機対
1			324件			○ 達成		〇 達成		以下	策課
日標	庙 市内	における刑法犯認知件数は、令和元	 年実績32						L に減少して		) L
の		、各年における減少率には差がある									
考え	方 7年	270件とした。									
			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果 指標		りにおける人身交通事故発生件	R1	目標値	330	310	290	275	260	件	危機対
18 TE		(暦年)	367件	実績値	270	267	239	225		1+	ル 機 刈 ) 策課
_					〇 達成					以下	
目標		における人身交通事故発生件数は、									
の		、各年における減少率には差がある	ため、直流	近5年間	の平均減り	少率を計算	し、各年5	5.3%程度源	載少を見込	む中.	で、令
考え		7年260件とした。									
	1 (実	績評価)・目標値を十分達成できてお									発活動
		を自粛することはあったが、									
R	(次年	F度修正点) ・新型コロナウイルス感染症							か、メルマカ	ブ等を	利用し
3 年	0 / =	た防犯啓発活動をより重視し 績 評 価 ) ・目標値を十分達成できてお							z		
度	2(天	頼 評 画 )・日信恒を十万達成でさての	り、値板の	父迪女王	合光心動力	夫領にフな	かっている	と注念 じさん	S <sub>0</sub>		
~	(パワ を	F度修正点)・今後についても、当該実績	値を維持で	キストス	対大的には	祖代の活動	を踏削しつ:	つ 新しい	手動を取りて	いわて	1.1
	()/(-	「皮膚血素」 フ及についてい、 当該失順			一生本いには	.⊅u1/(∨)/□±/)	と旧表しつ	J		(100	010
	1 (実	績 評 価 ) ・前年度と比較し、件数が増	加したが目	標は達成	えしている。						
R	(次年	F度修正点)・これまで新型コロナウイル							令和5年度な	からは	制約が
4		無くなるため、より啓発活動						<u> </u>			
年度	2 (実	績 評 価 )・目標を十分に達成できてお	り、諸般の	)交通安全	啓発活動が	実績に繋が	っている。				
反	() to 2	「麻椒エト」 へんについても がばして		. + 7 - =	· # + ^^ !~ !+	TBILLの江新	<b>≠</b> Drk ≘ E I	カニュー・ハンエモもに	hd:-01.5	- + + <u>~</u>	=+1 -
	(次年	F度修正点)・今後についても、継続して いく。	日標達成と	こんのひこ	全本的には	. 現状の活動	を踏装し、	新しい活動	4谷に ノい (	して快	
	1 (宝	( ) ・目標を十分達成できており。	<b></b>	等の地流	が活動が宝	結につたが	っている				
		順計画 / ・日保を「万建成できて659	、口兀归玖			順にノなり	J (VIO.				
R	(次全	F度修正点) • 目標の達成とともに前年比	減を日指し	、引き続	き啓発活動	に注力して	()<				
5	,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				• • • •				
年	2 (実	績 評 価 )・目標を十分達成できており	、関係機関	と連携し	た交通安全	:啓発活動が	実績につな	がっている。			
度											
	(次年	F度修正点) ・継続して目標達成となるよ	う、現状の	)交通安全	啓発活動に	注力してい	<.				
	, .										
	1 (実	績 評 価 )・目標を十分達成できており	、犯罪被害	防止の啓	発活動等の	地道な活動	が実績につ	ながっている	5.		
	() to t		\ <del></del>	/m//+++	- ノー ミケッとハイ チャ						
R	(次年	F度修正点)・目標の達成とともに前年比	減を目指し	、 継続出	ルと啓発活動	に注刀して	61<.				
6	2(事	績 評 価 )・目標を十分達成できており	関係機関	と連進し	た交通安全	啓発活動が	宝績につた	がっていス			
度	2 🗡		、 内川小川及 天	(上生)乃し	//に又四又土	. 山元/山刬/J.	人間にしる	5 7 CV 1000			
	(次全	F度修正点) ・継続して目標達成となるよ	う、現状の	)交诵安全	啓発活動に	注力してい	<.				
	(5)		- \ Jun/\\\			,	. 0				

年度

指標数

R3

16

担当課

危機対策課・市民課 政策目標 1 安全で安心して暮らせるまち

施策分野 4 生活安全の推進

施策1-4の全指標達成率

R5

16

R6

16

R7

16

R4

16

				指標数	14	14	14	14	14		本的な取		
2	1	基本的な取組(2桁コード)・	・主な内容(4桁=	<b>リード</b> )	達成数	6	9	8	8	0		・主な内 の達成状	
					達成率	42.9%	64.3%	57.1%	57.1%	0.0%	況		
		, 特殊詐欺に対する社会	全の認知時の		指標数	2	2	2	2	2			
	)1		スログ回りのでしている	達成状況	達成数	0	2	2	1	0			
		19工			達成率	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		404 防犯用電話自動応答録	防犯用電話自動応		目標値	10	15	20	25	30	台	危機対	
	0	101 労機の貸出情報の発信	答録音機の貸出台	_	実績値	3	20	27	28			策課	
			数	<b>%</b> 2	評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	>ICUNIC	
			オレオレ詐欺撲滅	R1	目標値	12	12	12	12	12		危機対	
	0		キャンペーンの開	12回	実績値	11	12	12	9		_	策課	
		ペーンの推進	催回数		評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成	× 未達成		以上	711011	
	0101 市内における特殊詐欺被害件数は減少しているものの、被害額は増加しており、自動応答録音機の貸出を必要とする市民に必要な情報が届いていないために、目標値を大幅に下回ってしまった。次年度以降はメルマガ等を利用して、情報発信を強化していく。												
	R			<u> </u>									
	3	O1O2 定例の撲滅キャンペー   合わせたため、目標達											
		毎月開催を目指してい		。フ饭にノ	WICE.	利望コロノ	リイル人窓	条証の念条	状況 と注税 い	ノ、  美  余  茂	対し理	捞して	
		0101 令和4年度については		計20台の	貸し出し	となった。	増え続ける	特殊詐欺の	被害を未然に	こ防ぐため、	令和	15年度	
_	R	以降も目標値達成を目	目指し、必要な家庭	への貸出に	つながる	よう周知を	図っていく	0					
年	4												
度		度以降も開催回数の目	目標値達成を目指す	とともに、	実施日に	ついても年	金支給日等	の効果的な	日程での実施	他を心掛ける	ていく	0	
		0101 令和5年度についても					多く発生し	ていることだ	から、引き続	き警察等と	達携	した活	
評	R	動により、必要な家庭											
	5	0 . 0 = missiparist							支給日等の変	効果的な日和	呈で実	施する	
価		ことができた。引き終							14 / <del>_</del>	·+ = L ++ L +		1-0- A	
		O1O1 目標は達成しているも   ためにも、引き続き警								保詐欺被害 る	き未然	に防ぐ	
	R									カ日志し生を	3=1)	左6回	
	6	0102 金融機関、スーパー、の年金支給日を重点に	ショッヒノクモール: 活動したため、日標:	寺にのいて、 幸成となら7	. オレオi なかった.	ノif	山谷光活動で   犯協会等と	さ夫他したル 車携を図り、	、 夫他回数の 年間を通じて	D兄旦し守る て啓発活動を	宇施し	てい	
		く。	<b>山</b>	£,74°C,0°D,	5,5 5,00	31 C 1100 C P/3		T1/3 C C 7 (					

※2 令和2年度からの新たな取組であり、実績未確定のため基準値を一とした。

						指標数	4	4	4	4	4		
(	)2	2 犯罪σ	ない環境づく	りの促進	達成状況	達成数	1	2	1	2	0		
						達成率	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%		
		Ē	な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
	00	。	方犯パトロールの	青色防犯合同パト	R1	目標値	13	14	15	16	17		危機対
	02	201 克里		ロール実施回数	120	実績値	11	12	10	8		IVI L	策課
					R1	評価 目標値	× 未達成	X 木達成 1	× 未達成		1	以上	
	$\cap$		者対応訓練等の訓	不審者対応訓練の	וח	実績値	1	-	0	0	1		危機対
	02	練補!	功	実施回数	10		× 未達成		× 未達成	_		以上	策課
				P亡X口砂及に関する		日標値	4	4	4	4	4		
	02		マガ等による定期	防犯啓発に関する メールマガジンの発	_	実績値	0	2	0	22	'		危機対
	-	- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	青報発信	信回数	<b>%</b> 3		× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上	策課
		vo.m.	T - 0 / E + 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1			目標値	100	150	200	250	300	1	7 100 11
	02		不安〇運動期間中 心啓発事業の充実	安全・安心フェアの市民来場者数	_	実績値	150	200	200	250		人	危機対 策課
		צבעונט	は合共争集の元夫	の旧氏术場有数	<b>%</b> 4	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	<b>東</b> 酥
				協議会の加盟団体で									
				は、実施を見合わせ			ならなかっ	たが、今後	については	、参加人数	を増やすなる	ビ、次	生度以
		<u> </u>	もより規模を入さり	くして実施できるよ	つ努め(し	いく。	かり神味は	シンたらたか	った 次年	度什 成汰	主の出わた	ナカオ	'2т
	O2O2 新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練を中止したため目標達成とならなかった。次年度は、感染症の状況を注視する中で、警察等と調整を図り実施できるよう努めていく。												
	で、警察等と調整を図り実施できるよう努めていく。 0203 市内における不審電話等の状況により、不定期での発信は行ったが、定期的な情報発信は未実施であった。今後については、警察												
				する中で、定期的な									,
				感染症の影響により									
				こ。今後については									
				は毎月1回の計12					毎月1回の	実施に加え、	別に実施す	する啓	発運動
				開催時にも実施を検					****	4 0 33/8 D 3	*	<b>マ</b> ハ	
				こ実施する不審者対 ご二強盗の対応訓練		助的なな	き割として多	別し、事業	首の刈心技	伽の省侍及(	プロエを図っ	O (1)	· < 。
	R	0000	和4年度について	は、防犯用電話自動	/ 応答録音機	の貸出で	37が具警が新	1/く盟発し	たアプリ「	どこでもポリ	フェの周知	not-	めの
	4	U2U3 13	ールマガジンの配	言を行った。令和5	年度につい	では、す	民に必要な	防犯情報を	届けるため	、配信内容	を精査するの	中で目	標回数
		<u></u> の	達成も目指していく	<.									
		0204 🛱	和4年度からは、	く。 それまで新型コロナ	ウイルス恩	マナート マナート	/響により展	ままのみとし	ていたフェ	アの内容を作るのなり	だ前の内容に *! 思知な	こ戻し	て実施してい
年		<i>-</i>	、 日信値を上回るだ	来場者数となった。	フ仮にノい	1600	い多くのは	」氏に木场(バ	ににけるよ	フ内谷 を相談	重し、同和で	を図り	CVI
		0201 令	。 和5年度についてI	は、毎月1回(8月	<ul><li>3月を防</li></ul>	(く) の計	10回実施	した。令和	6年度以降	については、	毎月1回の	の実施	にたり
-				発運動やキャンペー									
度				は、警察が実施する	不審者対応	訓練に参	別すること	ができなか	ったため、	令和6年度(	こついては、	警察	等と調
	R		を図り実施できる。										
評	5			は、メールマガジン							市民に必要	要な防	犯情報
				等の関係機関と防犯							タノの士ロリ	- <del></del>	U \ += +=*
価				ち、前年と同程度の し、周知を図ってい		39 OCC	- C日信唱る	エ凹うた。	フ仮にノバ	して、より	すくのいけばい	二木场	10 1/2/2
ІШ				は、計8回の実施に		達成とな	らなかった	- 令和7年	度について	は、防犯協会	会等と連携し	/年日	<u>−</u> □ <i>𝔻</i>
				もに、別に実施する									
				も、日程が合わず警									
	R			の参加できるよう努		9,22	37.37.0.07.111.11			.5 2 / 20   13		- • • •	
	6	0203 令	和6年度について	<b>は、メールマガジン</b>	や同報無線	を活用し	、 手口が多	様化する特	殊詐欺被害	に遭わない。	よう、県内	(市内	) で同
				祭には、積極的な広									
				は、動線を考慮し屋					客となり、	目標を達成し	した。今後に	こつい	ても、
				場いただけるよう内		、周知を	と図っていく	. 0					

- ※3 令和3年度からの新たな取組のため基準値を一とした。 ※4 令和元年度は、台風の影響により中止。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、展示のみ実施し来場者数を カウントしていないため、基準値を一とした。

				指標数		4	4		4	4	4		
	20	3 歩行者の安全確保	達成状況	達成数		2	2		2	2	0		
_				達成率	5	50.0%	50.0%	ó	50.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容管理指標	基準値			R3	R4		R5	R6	R7	単位	担当課
		201 交通指導員による交通 市内小学校へ	R1	目標値		100	10		100	100		%	危機対
	O:	301 光道	70%	実績値		66.0	78		86.0	71.4		/0	策課
		10-5		0	X	未達成	× 未達			× 未達成			Nux.
		200 交通安全指導員による 交通安全教室		目標値		200	20	_	200	200			危機対
	O:	302 <sub>衣涌指道</sub>   父进女王指导(	70実 194回	実績値		165	18	_	184	196		_	策課
		施回数			X	未達成	× 未達		× 未達成	× 未達成		以上	715071
	_	202 ピカッと佐戦の推進 ピカッと作戦	<sub>転業</sub> │ R1	目標値		1		1	1	1	1		危機対
	O:	303 ピカッと作戦の推進   ころうと1   0実施回数		実績値		1		1	1	1			策課
				評価	0	達成	〇 達成	`	) 達成	○ 達成		以上	111011
	_	204 逐光吸上检查器の採用 通学路点検事	R1	目標値		1		1 1	1	1	1		危機対
									1	1		_	策課
			'-		0		〇 達成		) 達成	〇 達成		以上	
0301 現在9小学校中6小学校への配置となっている。交通指導員については、慢性的な人員不足となっているため、今後については、												ここ、	
	人員募集のチラシを作成し配布する等で告知し、人員不足の解消に努めていく。(未配置:東小・西小・池小)												
	0302 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を中止するケースが相次ぎ目標達成とならなかったが、代替えとして交通安全の知識を深めるためのDVDを作成し、幼稚園等に配布した。今後についても、状況に応じた交通安全指導を実施していく。												
	R	0303 年末の交通安全県民運動において、											1.71)
	Ü	きたい。	X 411/0 G EU 10 S	70CE	ᄀᄑ	山助でス		⊒ري.	が足り、こ	C/C。	支し工人し、		30 (01
		0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検	の要望のあった	-、诵学品	各及	び園児等	の移動経	路に	こついて3	日間をかけ	危険箇所のの	与検を	実施し
		た。今後についても、しっかりと各										WIX C	. ) ( ) ( )
		0301 令和4年度については、市内9小学	校中7小学校に	交通指導	員	を配置し	た。小学	校紛	旅廃合によ	り令和5年	度からは7.	小学校	とな
		る。引き続き全ての小学校への配置											
		0302 交通指導については、新型コロナウ	イルス感染症の	)影響でほ	思う	ように開	催できな	い時	時期が続い	ていたが、	令和4年度も	5目標	値の達
	R	成には至らなかったものの実施回数	は増となってい	る。令種	05	年度以降	は、目標	回数	攻を達成で	きるよう交	通安全指導員	員との	更なる
	4	連携を図っていく。											
		0303 冬季における早めのライト点灯を呼											: 啓発活
		動を実施したため目標達成とした。											· c=>+/- 1
年		O3O4 各小学校、幼稚園、保育園から点検 た。今後についても、各学校及び園								日间をかけ	厄陝固所(の)5	は快る	:美施し
+		0301 令和5年度については、市内7小学								抽号となり	1 〇 1 1大生   1	- ts -	たが土
		030   市和3年度については、中内7小学   配置(池小)の解消には至っていな											
度		0302 交通安全指導については、令和5年											
	R	達成できるよう交通安全指導員との				はエンゆ	נושו ליו	, 01	F <del>-1-</del> 111/07/07:	大旭回奴し	a ) (1100	<b>□</b> 137	四数乙
評	5	0303 年末の交通安全県民運動において、		_		活動を実	施したた	ЖΕ	1標達成と	した。次年	<b>等以降韦効</b> !	見的な	·啓発活
計	Ŭ	動ができるよう工夫した事業の実施						ے رہ		0/20 0/4/	X2/14 0/3/	K03/0	
		0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検	要望があった通	M学路及7	燗	児等の移	動経路に	) l	1て、2日	間をかけ危	険筒所の点棒	食を実	施し
価		た。今後についても、各学校及び園	からの意見を聊	恵取し、危	到色	箇所の点	検に努め	てい	<b>\</b> <.				
		0301 市内7小学校中6小学校に配置され	ていたが、交通	通指導員 <i>0</i>	D解	職により	5小学校	の酉	置となっ	た。交通指	尊員の高齢化	とも進	んでい
		ることから、今後も交通指導員が解	職となることだ	が予想さ∤	いる	。今後に	、 新規交	通指	言導員を確	保していく	必要があるる	ことか	ら、募
		集チラシの配布やポスターの掲示な	ど、交通指導員	の増加は	こつ	ながる対	果的な募	集广	う法の検討	を進めてい	<.		
	R 0302 交通安全指導については、令和6年度も目標達成には至らなかったが、昨年を上回る実施回数となっている。目標達成に向け、交												け、交
	6	通安全指導員との更なる連携を図っ	ていく。										
	J	0303 年末の交通安全県民運動において、									たため目標は	達成と	した。
		次年度以降も効果的な啓発活動がで											
		0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検								か所の危険	<b>箇所の点検</b> を	を実施	した。
		今後についても、各学校及び園から	の意見を聴取し	ハ 危険値	到外	の点検に	・劣め(い)	<.					

		六宮市地方科片され	たい理培ベノ		指標数	2	2	2	2	2		
(	Э4	・交通事故を発生させだ ・ り	はい味児ノく	達成状況	達成数	1	1	1	1	0		
		<b>V</b> )			達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		404 高齢者運転免許証自主	高齢者運転免許証	R1	目標値	440	450	460	470	480	人	危機対
	Ο	401 同断台建製光計証日土 仮納支援事業の促進	同都台建製光計証   自主返納者数	367人	実績値	331	268	277	274			策課
		<b>应耐又放</b> 事来?0亿是		3017	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上	XIX.
		四季の交通安全運動に	四季の交通安全運動期		目標値	4	4	4	4	4		危機対
	Ο	402 おける交通安全啓発事	間中における交通安全 啓発に関するメールマ	_	実績値	4	4	4	4			策課
		業の充実	ガジンの発信回数	<b>%</b> 5	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	XIX.
0401 免許返納後の代替の移動手段の確立等、危機対策課では対応できない課題もあり目標達成とはならなかった。今後についても、メルマガ等を通じた情報発信を継続し、高齢者の自主返納を促していく。   0402 季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びメールマガジンで交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。												
年度		0401 本市では、免許証返約 して、自主返納者に変を引き続き継続している402 季節ごとに実施するでも、同様に実施してい	納者に対し運転経歴 多様なインセンティ いく中で、補助やサ 交通安全運動の初日	ブを付与す ポート事業	る事業を	実施してい も広く周知	\るが、返納 ]し、高齢者	者数は減との自主返納	なった。今( を促していぐ	多についてに く。	は、情	報発信
	R		続していく中で、補	助やサポー	- 卜事業に	ついても広	く周知し、	高齢者の自	主返納を促り	していく。		
5 0402 季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びSNSを活用し、交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。												ついて
	R 6	O4O1 近年、自主返納者数、 免許所持者数を減少る していく。										
		0402 季節ごとに実施する。 も、同様に実施してし	, \<.		報及びS	NSを活用し	ノ、 交通安全	啓発に関す	る情報を発	信した。今	後にこ	ついて

※5 令和3年度からの新たな取組のため基準値を一とした。

			ねっぱまし しい光		指標数	2	2	2	2	2	2	1	
(	)5	- 消費者被害防止対策) 費行動の推進	及び正しい消	達成状況	達成数	2	2	2	2	2	0		
		負1J到VJ推進			達成率	100	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
		主な内容	管理指標	基準値		R	3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				R1	目標値		18	18	18	18	18		
	05	501 消費生活相談の強化	研修会の受講回数	14回	実績値		28	22	29	26			市民課
				140	評価	Οì	<b></b>	〇 達成	〇 達成	〇 達成		以上	
		消費生活特別講座の開	   啓発活動の実施回	R1	目標値		52	54	56	58	60		
	05	502 作等の啓発活動の充実	数	500	実績値		53	58	73	100			市民課
					評価		達成	○ 達成	○ 達成	〇 達成		以上	
	0501 新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインで開催される研修が増え、それらを利用することで目標を達成できた。悪質・ 巧妙化していく消費者トラブルの解決のため、今後も積極的に研修を受講していく。 3 0502 消費者被害防止のため、市民を対象とした消費生活特別講座、街頭啓発、メールマガジン配信、広報いとうでの啓発を行った。今												
		後も継続的に啓発活動	動を実施していく。			_, , , , ,							
<b>/</b> -	R	O5O1 オンラインで開催され   積極的に研修を受講し		に参加し目	標を達成	なでき!	こ。 悪	質•巧妙化	していく消	費者トラブル	レの解決のク	こめ、	今後も
年	4	0502 消費者被害防止のため				E、街頭	頂啓発	、メールマ	ガジン配信	、広報いと	う、市ホーム	ブペー	・ジでの
度		啓発を行った。今後す											
評	R	0501 集合研修、オンライ:   後も積極的に研修を	,>	参加し目標	を達成で	できた。	ます	ます高度化	、複雑化す	る消費者トラ	ラブルの解え	やのた	め、今
価	5	O5O2 消費者被害防止のため え、終活講座、民生								とう、市ホ	ームページ	での唇	各発に加
	R 0501 集合研修、オンライン研修等に積極的に参加し目標を達成できた。デジタル化の進展により、ますます複雑化、多様化及び高度化する消費者問題に対応するため、今後も積極的に研修を受講していく。												
	6	0502 前年度と同様の啓発に 始し、継続的な啓発に		の総会時な	さどあらば	りる機会	会にチ	うシを配布	し啓発する	とともに、』	古報いとう/	\の連	載を開

担当課	危機対策課			施策1-50	D全指標達成	<b>文率</b>	
政策目標 1			R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 5	施策分野 5 消防体制の強化(消防団体制の強化・消防水利の充実)		9	9	9	9	9
日均す次	市民が火災を始めとする災害から守られ安心して	達成数	5	6	6	4	0
日担9女	暮らすことができる	達成率	55.6%	66.7%	66.7%	44.4%	0.0%

				廷戍平				ı		l				
				指標数	1	1	1	1	1	ı				
4	ett E	田や挿(アワー)			4	3	2	4	0					
'	PX;5	果指標(KPI)		達成数	1	_		1	_					
			++ >44 (-1-	達成率	25.0%	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	W LL	+D // -B			
成	⊞		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
指		消防団員充足率<4月1日時点>	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	<del>在</del> 北線立士			
1 1			00.00/	実績値	97.6	93.5	88.9	89.1		/0	危機対 策課			
'	'		99.2%	評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			<b>東</b> 禄			
目標	= 店	災害等発生時に市民の生命・財産を守る	当防活動	を安全が					を100%に	設定	1,			
$\sigma_{z}$		た。			213/BIC)	~116 9 W/C			2100/010	- 112 / L				
考え		100												
5/	1/J		###			5.4	DE	D0	D-7	34 /-L	+0.1/-8			
成	₽		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
指		公務災害件数	R1	目標値	0	0	0	0	0	件	<del>在</del> 北線立士			
181		公伤火吉什奴	4 /14	実績値	3	0	3	3		1+	危機対			
	_		1件	評価	× 未達成	〇 達成	× 未達成	× 未達成			策課			
目標	亜/古	災害活動・消防団活動を安全に実施する	ことを日ね						!					
			,CC 2 - 1	示に <b>、</b>		LITEX & O		-0						
σ.  考え														
51	٤/၂													
Ett I			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
成計		夜警の実施率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	<b>∠</b> +616 ±+			
			1000/	実績値	66,1	100	100	100		/0	危機対			
3	ر		100%	評価	× 未達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			策課			
+=	亜/走	ル巛予防広報の実施及び川巛発生時での	江海でされ	o. i				0 1 - 1						
目標値 火災予防広報の実施及び火災発生時での迅速な対応を目標に、夜警実施率を100%に設定した。														
	の iえ方													
5/	<u>基準値 R3 R4 R5 R6 R7 単位 担当課</u>   成果													
指														
4	4     宝繕値     76     83     83     83     83													
	75%													
+a														
日信				いいって田	囲っること	ことロ际に		1) LVE + 50	30 /01XIL	_ 0/	_0			
考え														
57				1011	27.42   -									
	1	(実績評価)・消防団員条例定数506人												
		(次年度修正点)・分団定数を満たすことが困				からの意見	を聞き取り、	地域に過度	度な負担が力	から	ないよ			
		う実情に応じた消防団員の募	隹を働きか											
R			未と助じり	1) (1)	. 0									
3	2	(実績評価)・火災出動時での怪我2件に				出動した際の	怪我1件、	計3件の公	務災害が発生	上して	しまっ			
年度	2	2 (実績評価)・火災出動時での怪我2件に (次年度修正点)・災害活動中の安全確認の徹	加え、地域	域の依頼に	こより警戒出					Eして	しまっ			
-		(次年度修正点)・災害活動中の安全確認の徹	加え、地域 底・幹部会	域の依頼に 議等で事	こより警戒出 は防止の啓	発等を行い	、公務災害の	の発生防止に	こ努める。					
岌		(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3(実績評価)・新型コロナウイルス感染症	加え、地域 底・幹部会	域の依頼に 議等で事	こより警戒出 は防止の啓	発等を行い	、公務災害の	の発生防止に	こ努める。					
		(次年度修正点)・災害活動中の安全確認の徹 3(実績評価)・新型コロナウイルス感染症 きなかった。	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の	域の依頼に 議等で事 )ため、予	こより警戒出 は防止の啓 定していた	発等を行い 夜警日数の	、公務災害のうち19日	の発生防止に	こ努める。					
及	3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3(実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点)・新型コロナウイルス感染症	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況	域の依頼に 議等で事 )ため、予 ]を注視し	こより警戒出 は防止の啓 定していた 、適切な夜	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実	、公務災害( うち19日 施する。	の発生防止に 間を中止とし	こ努める。 したため、E	標を	達成で			
<b></b>	3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3(実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 の消火栓を	域の依頼に 議等で事 かため、予 記を注視し 新設し、	より警戒出 は防止の啓 定していた 、適切な夜 目標を達成	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整	の発生防止に間を中止とし	ご努める。	i標を	達成で 100)			
	3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3(実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 の消火栓を 火栓等の新	域の依頼に 議等で事 かため、予 記を注視し 新設し、 「設につい	こより警戒出 は防止の啓 を定していた 、適切な夜 目標を達成 して、今後も	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整	の発生防止に間を中止とし	ご努める。	i標を	達成で 100)			
	3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 の消火栓を 火栓等の新 〇 6 人に対	域の依頼に 議等で事 かため、予 記を注視し、 新設し、 行設につい けし、47	こより警戒出 が助止の啓 定していた 、適切な夜 目標を達成 い、今後も ごろ人の登録	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となった。	、公務災害( うち19日) 施する。 できた。(整 東消防署・(	の発生防止に間を中止とし 備地区547 尹東市水道記	こ努める。 したため、E ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	標を             	達成で 100) いく。			
	3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 の消火栓を 火栓等の新 〇6人に対 伴い、地域	域の依頼に 議等で かた 注し、 が 記 新設に つい で ま が に し、 が に し、 が に し、 が に し、 が に し、 が に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に し、 に に し、 に に し、 に に に に に に に に に に に に に	より警戒出 は 放防止の啓 定していた 、適切な夜 目標を達成 して、今後も で、今後も で、今後も で、分の登録 には分団定数	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となった。 を満たすこ	、公務災害( うち19日) 施する。 できた。(整 東消防署・( とができな)	の発生防止に関を中止として開を中止として開かい。 備地区547 伊東市水道語 い分団も出る	<ul><li>二努める。</li><li>一たため、目</li><li>イ÷全地区7年と協議検討</li><li>てきているこ</li></ul>	引標を 18× けして ことか	達成で 100) いく。 ら、引			
	3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 の消火栓を 火栓等の新 〇6人に対 伴い、地域 きかけてい	域の依頼に (議議等で事か) (記を注視し、 (新設について) (計し、47で (はてことに) (はてことに)	より警戒出 は 放防止の啓 定していた 、適切な夜 目標を達成 して、今後も で、今後も で、今後も で、分の登録 には分団定数	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となった。 を満たすこ	、公務災害( うち19日) 施する。 できた。(整 東消防署・( とができな)	の発生防止に関を中止として開を中止として開かい。 備地区547 伊東市水道語 い分団も出る	<ul><li>二努める。</li><li>一たため、目</li><li>イ÷全地区7年と協議検討</li><li>てきているこ</li></ul>	引標を 18× けして ことか	達成で 100) いく。 ら、引			
R	3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 の消火栓を 火栓等の新 〇6人に対 伴い、地域 きかけてい	域の依頼に (議議等で事か) (記を注視し、 (新設について) (計し、47で (はてことに) (はてことに)	より警戒出 は 放防止の啓 定していた 、適切な夜 目標を達成 して、今後も で、今後も で、今後も で、分の登録 には分団定数	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となった。 を満たすこ	、公務災害( うち19日) 施する。 できた。(整 東消防署・( とができな)	の発生防止に関を中止として開を中止として開かい。 備地区547 伊東市水道語 い分団も出る	<ul><li>二努める。</li><li>一たため、目</li><li>イ÷全地区7年と協議検討</li><li>てきているこ</li></ul>	引標を 18× けして ことか	達成で 100) いく。 ら、引			
R 4	3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 2 (実績評価) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 の消火栓を 火栓等のに 火栓の人、地域 の伴かけてなが 安全確認の 安全確認の	或の依頼に 議議等で予 記を注視し、 行設に、47 ばし、よっとに がなった。、 の徹底、事	より警戒出 が が は が は が は は は は は る は る は る は る は る	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となった。 を満たった を図り公務	、公務災害 うち19日 施する。 できた。(整 東消防署・f とができな) 条例定数の!	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 の分団も出て 見直しも含め	<ul><li>一字かる。</li><li>一次をある。</li><li>一次をある。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li></ul>	引標を 18× けして ことか	達成で 100) いく。 ら、引			
R	3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 2 (実績評価) ・消防団活動中の公務災害は	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 の消火栓を 火栓等のに 火栓の人、地域 の伴かけてなが 安全確認の 安全確認の	或の依頼に 議議等で予 記を注視し、 行設に、47 ばし、よっとに がなった。、 の徹底、事	より警戒出 が が は が は が は は は は は る は る は る は る は る	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となった。 を満たった を図り公務	、公務災害 うち19日 施する。 できた。(整 東消防署・f とができな) 条例定数の!	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 の分団も出て 見直しも含め	<ul><li>一字かる。</li><li>一次をある。</li><li>一次をある。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li></ul>	引標を 18× けして ことか	達成で 100) いく。 ら、引			
R 4	3 4 1 2 3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 2 (実績評価) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の 3 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 のパッとを の消火栓を の消火栓を のが りとした いけてい の 発生してい を 発生 を を を を を を を を を を を を を を を を を	域の依頼は 議議等で事 記を注視し、 記を注視し、 はにくことに はいくっとに も がで はいくことに も が に が は に が に が れ に が に が い れ っ と っ と っ と っ と っ と っ と ら に ら 、 に っ と ら 。 に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に	より警戒出 が が は が は が は は は は は る は る は る は る は る	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となった。 を満たった を図り公務	、公務災害 うち19日 施する。 できた。(整 東消防署・f とができな) 条例定数の!	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 の分団も出て 見直しも含め	<ul><li>一字かる。</li><li>一次をある。</li><li>一次をある。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li></ul>	引標を 18× けして ことか	達成で 100) いく。 ら、引			
R 4年	3 4 1 1 2 3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 2 (実績評価) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の 3 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動	加え、地域 底・幹部会 拡大防止の の感染状況 のパッとを の消火を のが消火を のが消火を のが りたした はで のが のが りた のが りた のが りた のが りた のが りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた りた	域の依頼は 議議等ですう。 を注説し、よこに を注説し、よこに。、 まがはいくいで、 ではいくいでは、 ではいでは、 ではないでは、	より警戒出 が が が が を は は は は は は は り は り は り は り は り は り は	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となったっこ を満合った を関り公務 止を除く)	、公務災害の方ち19日間 施する。できた。(整東消防署・付金のできないできない) とができない (楽例定数の)	の発生防止に 間を中止とし 備地区547 伊東市水道記 い分団も出て 見直しも含め 防止に努める	<ul><li>一字かる。</li><li>一次をある。</li><li>一次をある。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li></ul>	引標を 18× けして ことか	達成で 100) いく。 ら、引			
R 4年	3 4 1 1 2 3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 2(実績評価) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動	加え、地域底・幹部上のの感染状での火を見かれている。水域のの感染状をののでは、大きないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、はないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは	成の依頼に は は は は は は に な に に に に に に に に に に に に に	より警戒出 が が が が を は は は は は は は り は り は り は り は り は り は	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実 することが 引き続き伊 となったっこ を満合った を関り公務 止を除く)	、公務災害の方ち19日間 施する。できた。(整東消防署・付金のできないできない) とができない (楽例定数の)	の発生防止に 間を中止とし 備地区547 伊東市水道記 い分団も出て 見直しも含め 防止に努める	<ul><li>一字かる。</li><li>一次をある。</li><li>一次をある。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li><li>一次を表する。</li></ul>	引標を 18× けして ことか	達成で 100) いく。 ら、引			
R 4年	3 4 1 1 2 3	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警を動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警を動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防水利充足率の算出を見 (整備地区593÷全地区	加え、地域底・幹部上のの感染状況のの形となる。 の形となるののでは、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも。 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 ののでも。 のでも。	域の依頼は は は は は は は は は は は は は は	より警戒出 が が は が は が は は は は は は は は は は は は は	発等を行い 夜警日数の 警巡回を実が 引き続きた。 となったす。 を関り公とを満た合 を図り公く) し、充足率	、公務災害の方ち19日に 施する。 できた。 (整東消防署・付 とができなり) 災害の発生に が向上した。	の発生防止に 間を中止とし 備地区547 伊東市水道記 い分団も出て 見直しも含め 防止に努める	<ul><li>二努める。</li><li>□ たため、目</li><li>「÷全地区7」</li><li>「‡全地区7」</li><li>「‡と協議検討」</li><li>てきているこかた協議をし</li><li>る。</li></ul>	18×・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警を (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警を動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (整備地区593÷全地区 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消	加え、地域底拡 の感染状での火の伴き発安実の直7火栓を新えている。 のがは のが	<ul><li></li></ul>	より警戒出 が放けしていた が適切を達後も ではいえ、引き続いて、引き続いて、引き続いて、引き続いて、引き続いて、引き続いた。	発等を行い 夜警日数の 警巡回をとかり 当る続きたことを満ったすっ とを満ったすった を以り が、 を以り が、 を に を が、 た を に を が、 た を に た の と を た に り り の と を 、 た に り り の と 、 た 、 た の と 、 た 、 た 、 た の と 、 の と 、 の を 、 の と 、 の と 、 の と の と 、 の と 。 と 、 の と の と の と 。 と 、 の と の と 。 と の と の と 。 と と と と と と と と と	、公務災害の方ち19日に 施する。 できた。 (整東消防署・付 とができなり) 災害の発生に が向上した。	の発生防止に 間を中止とし 備地区547 伊東市水道記 い分団も出て 見直しも含め 防止に努める	<ul><li>二努める。</li><li>□ たため、目</li><li>「÷全地区7」</li><li>「‡全地区7」</li><li>「‡と協議検討」</li><li>てきているこかた協議をし</li><li>る。</li></ul>	18×・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警を動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警を動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防水利充足率の算出を見 (整備地区593÷全地区	加え、地域底拡 の感染状での火の伴き発安実の直7火栓を新えている。 のがは のが	<ul><li></li></ul>	より警戒出 が放けしていた が適切を達後も ではいえ、引き続いて、引き続いて、引き続いて、引き続いて、引き続いて、引き続いた。	発等を行い 夜警日数の 警巡回をとかり 当る続きたことを満ったすっ とを満ったすった を以り が、 を以り が、 を に を が、 た を に を が、 た を に た の と を た に り り の と を 、 た に り り の と 、 た 、 た の と 、 た 、 た 、 た の と 、 の と 、 の を 、 の と 、 の と 、 の と の と 、 の と 。 と 、 の と の と の と 。 と 、 の と の と 。 と の と の と 。 と と と と と と と と と	、公務災害の方ち19日に 施する。 できた。 (整東消防署・付 とができなり) 災害の発生に が向上した。	の発生防止に 間を中止とし 備地区547 伊東市水道記 い分団も出て 見直しも含め 防止に努める	<ul><li>二努める。</li><li>□ たため、目</li><li>「÷全地区7」</li><li>「‡全地区7」</li><li>「‡と協議検討」</li><li>てきているこかた協議をし</li><li>る。</li></ul>	18×・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防水利充足率の算出を見 (整備地区593÷全地区 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (整備地区593÷全地区 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防水利未整備地区への消	加え、地域底拡 の感染状での火の伴き発安実の直7 火の の形を のの の の の の の の の の の の の の の の の の	<ul><li>成 議法</li><li>記 を 注 は にくっ 徹 に の と を 注 は にくっ 徹 に の と の に の に</li></ul>	より警戒出 が放け上の格 をしていた のはではないでは、 のはでは、 のはでは、 のは、 のは、 のは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	発等を行い 夜警日数の 警巡回をという するにいる いいる をに見り いたで をにした。 を取り かたで が、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東消防できた) と条例定で数の が高上した。 防署・伊東に	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 か分団も出て 見直しも含めて 防止に努める	<ul><li>二努める。</li><li>一たため、目</li><li>「÷全地区7」</li><li>果と協議検討</li><li>こさた協議をしる。</li><li>る。</li><li>品議検討して</li></ul>	18×・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (数種地区593÷全地区 (次年度修正点) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・分団定数を確保することが	加え、地域の水の火の伴き発安実の直7火の 困難を対している。 大学的 染火を入、けし確で施実し1を発し、はし1を発生ので、地域ので、地域ので、地域ので、地域ので、地域ので、地域ので、地域ので、地域	成	より警戒出 が が が が が が は で で で で で で で で で で で で で	発等を行いの 警す引とをに を止 し、 こと 「分間を対している」 を がった から で で で で で で で で で で で で で で で で で で	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東消防できた) と条例定で数の が高上した。 防署・伊東に	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 か分団も出て 見直しも含めて 防止に努める	<ul><li>二努める。</li><li>一たため、目</li><li>「÷全地区7」</li><li>果と協議検討</li><li>こさた協議をしる。</li><li>る。</li><li>品議検討して</li></ul>	18×・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4年	3 4 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (整備地区593÷全地区 (次年度修正点) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・治団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見	加え、地域の水の火の伴き発安実の直7火の 困合 を 対	成	より警戒出 が止のいた がはしていた ではいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる で	発等を行いの 警す引きな満った合 り公く 定し、、ななの間に を止め、、ななの間に をにして、数のでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができたのり と条例でき数のり が向上した。 が同上した。 に関するア	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を	<ul><li>二努める。</li><li>一大全地区7・</li><li>十全地区7・</li><li>果と協議検討</li><li>てきているこかた協議をしる。</li><li>る。</li><li>品議検討して</li><li>を実施し、欠</li></ul>	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4年	3 4 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (数種地区593÷全地区 (次年度修正点) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・分団定数を確保することが	加え、地域の水の火の伴き発安実の直7火の 困合 を 対	成	より警戒出 が止のいた がはしていた ではいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる で	発等を行いの 警す引きな満った合 り公く 定し、、ななの間に を止め、、ななの間に をにして、数のでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができたのり と条例でき数のり が向上した。 が同上した。 に関するア	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を	<ul><li>二努める。</li><li>一大全地区7・</li><li>十全地区7・</li><li>果と協議検討</li><li>てきているこかた協議をしる。</li><li>る。</li><li>品議検討して</li><li>を実施し、欠</li></ul>	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4年	3 4 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (整備地区593÷全地区 (次年度修正点) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・治団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見	加え、地域の水の火の伴き発安実の直7火の 困合 を 対	成	より警戒出 が止のいた がはしていた ではいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる で	発等を行いの 警す引きな満った合 り公く 定し、、ななの間に を止め、、ななの間に をにして、数のでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができたのり と条例でき数のり が向上した。 が同上した。 に関するア	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を	<ul><li>二努める。</li><li>一大全地区7・</li><li>十全地区7・</li><li>果と協議検討</li><li>てきているこかた協議をしる。</li><li>る。</li><li>品議検討して</li><li>を実施し、欠</li></ul>	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R4年度	3 4 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (本種に) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・治団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見 (実績評価) ・火災出動時での怪我2件に	加え・対して、 の火の伴き発安実の直7火の 困合加え、 や野に 外のでは、 はいのの火のは、 はいののののでは、 はいのでは、	成議   表記   表記   表記   表記   表記   表記   表記   表	より警戒は が が は が は が は は は は は は は は は は は は は	発等を行いの 警す引きな満った合 り公く を止 を かん 東が で かん で で で で で で で で で で で で で で で で で	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができた。(整東)がで定数の と条例でき数の が向上した。 に関するアン に関するアン に関するアン に関するアン	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を 計3件の公務	二努める。 一定ため、目 一学全地区ででは、 大学では、 、 大学では、 大学でな 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学でな 大学では、 大学では、 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな は、 大学でな 大学でな は、 大学で は、 は、 は、 は、 は、	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4年度	3 4 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団系例における定数5 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・治団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見 (実績評価) ・火災出動時での怪我2件にた。	加え・対して、 の火の伴き発安実の直7火の 困合加え、 や野に 外のでは、 はいのの火のは、 はいののののでは、 はいのでは、	成議   表記   表記   表記   表記   表記   表記   表記   表	より警戒は が が は が は が は は は は は は は は は は は は は	発等を行いの 警す引きな満った合 り公く を止 を かん 東が で かん で で で で で で で で で で で で で で で で で	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができた。(整東)がで定数の と条例でき数の が向上した。 に関するアン に関するアン に関するアン に関するアン	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を 計3件の公務	二努める。 一定ため、目 一学全地区ででは、 大学では、 、 大学では、 大学でな 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学でな 大学では、 大学では、 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな は、 大学でな 大学でな は、 大学で は、 は、 は、 は、 は、	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4 年度 R 5	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防水利充足率の算出を見 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (変年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (変年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・対団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見 (次年度修正点) ・火災出動時での怪我2件に た。 (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹	加え・大 の火 〇件き発安実の直7火 〇 困合加 底・大 等所 染火等人、けし確で施実し1栓6 難っえ・幹部に地でを発生を表していた。 幹部になるのに地である。 いった 対しているのでを集1 新元 均数均 会	成議	より警のには、自然のでは、自然のは、自然のでは、	発等を行いの 警す引とをにを止し、 たな 分の 国の ための 実が伊 のことをに を止し、 たな 分の 国の ための アイ 東に 定 際の いっぱん かん 変 のの い 発 を でんしょう かん かん 変 の の い 発 を でんしょう かんしょう かんしん かんしょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができた。(整東)がで定数の と条例でき数の が向上した。 に関するアン に関するアン に関するアン に関するアン	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を 計3件の公務	二努める。 一定ため、目 一学全地区ででは、 大学では、 、 大学では、 大学でな 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学でな 大学では、 大学では、 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな は、 大学でな 大学でな は、 大学で は、 は、 は、 は、 は、	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4 年度 R 5 年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団系例における定数5 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防可条例における定数5 (次年度修正点) ・治団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見 (実績評価) ・火災出動時での怪我2件にた。	加え・大 の火 〇件き発安実の直7火 〇 困合加 底・大 等所 染火等人、けし確で施実し1栓6 難っえ・幹部に地でを発生を表していた。 幹部になるのに地である。 いった 対しているのでを集1 新元 均数均 会	成議	より警のには、自然のでは、自然のは、自然のでは、	発等を行いの 警す引とをにを止し、 たな 分の 国の ための 実が伊 のことをに を止し、 たな 分の 国の ための アイ 東に 定 際の いっぱん かん 変 のの い 発 を でんしょう かん かん 変 の の い 発 を でんしょう かんしょう かんしん かんしょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができた。(整東)がで定数の と条例でき数の が向上した。 に関するアン に関するアン に関するアン に関するアン	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を 計3件の公務	二努める。 一定ため、目 一学全地区ででは、 大学では、 、 大学では、 大学でな 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学でな 大学では、 大学では、 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな は、 大学でな 大学でな は、 大学で は、 は、 は、 は、 は、	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4 年度 R 5	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 ・新型コロナウイルス感染症さなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症でなかった。 (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団景例における定数5 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は(次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は(次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は(次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動(実績評価) ・消防水利充足率の算出を収欠年度修正点 ・消防水利充足率の算出を見(整備地区593÷全地区(次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・ガ団定数を確保することが諸問題を聞き取り、分団に見た。 ・	加底拡 のの火〇件き発安実の直7火〇 困合加 底 実地会の の火〇件き発安実の直7火〇 困合加 底 実地等に 染火等人、けし確で施た8等人 なた、 幹 でいた なんだい いんしん ないがい がいかい がいかい はいました はいまい はいまい さいきょう はいかい かいかい はいかい はいかい はいかい かいかい はいかい かいかい はいかい かいかい はいかい かいかい はい はいかい かいかい はいかい はい	成議に を新設しいつのでは、	より警のには、自然のでは、自然のは、自然のでは、	発等を行いの 警す引とをにを止し、 たな 分の 国の ための 実が伊 のことをに を止し、 たな 分の 国の ための アイ 東に 定 際の いっぱん かん 変 のの い 発 を でんしょう かん かん 変 の の い 発 を でんしょう かんしょう かんしん かんしょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができた。(整東)がで定数の と条例でき数の が向上した。 に関するアン に関するアン に関するアン に関するアン	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を 計3件の公務	二努める。 一定ため、目 一学全地区ででは、 大学では、 、 大学では、 大学でな 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学でな 大学では、 大学では、 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな は、 大学でな 大学でな は、 大学で は、 は、 は、 は、 は、	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4 年度 R 5 年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防水利充足率の算出を見 (次年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (変年度修正点) ・消防水利充足率の算出を見 (変年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・対団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見 (次年度修正点) ・火災出動時での怪我2件に た。 (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹	加底拡 のの火〇件き発安実の直7火〇 困合加 底 実地会の の火〇件き発安実の直7火〇 困合加 底 実地等に 染火等人、けし確で施た8等人 なた、 幹 でいた なんだい いんしん ないがい がいかい がいかい はいました はいまい はいまい さいきょう はいかい かいかい はいかい はいかい はいかい かいかい はいかい かいかい はいかい かいかい はいかい かいかい はい はいかい かいかい はいかい はい	成議に を新設しいつのでは、	より警のには、自然のでは、自然のは、自然のでは、	発等を行いの 警す引とをにを止し、 たな 分の 国の ための 実が伊 のことをに を止し、 たな 分の 国の ための アイ 東に 定 際の いっぱん かん 変 のの い 発 を でんしょう かん かん 変 の の い 発 を でんしょう かんしょう かんしん かんしょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	、公務災害の うち19日 施する。 できた。(整東)ができた。(整東)がで定数の と条例でき数の が向上した。 に関するアン に関するアン に関するアン に関するアン	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東市水道記 い分回しも含めて 別直しに努める 市水道課とは ンケート」を 計3件の公務	二努める。 一定ため、目 一学全地区ででは、 大学では、 、 大学では、 大学でな 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学でな 大学では、 大学では、 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな 大学でな は、 大学でな 大学でな は、 大学で は、 は、 は、 は、 は、	18×・ 18×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10×・ 10	達成で 100) いく。 ら、引 く。			
R 4 年度 R 5 年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利末整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・対団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見 た。 (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹	加底拡 のの火〇伴き発安実の直7火〇 困合加 底 実のえ・対防 染火等人、けし確で施定8等人 なた、 幹 で 施野山 状栓のに地てな認きに結×のに 地変切 き に いなを新文地ので 地変切 き に がったい は かいしょう はいしょう はいいしょう はいしょう はいいしょう はいしょう はいき はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はんしょう はんしょく はいしょう はいしょう はいしょう はいまん はいしょう はいまい はいしょう はいしょく はいまい はい	成(議)のというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	よりには、日本のでは、日	発 変 警 す 引 と を に を に を に を に を に を に を に の に た の に の に た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	、 公務災害日 施する。。 で東 と条 災 が 防 と	の発生防止に 間を中止とし 備地区547 伊東市 もも含め い見しし 努める 市水道課と協 ンケート」を 計3件 防止に	<ul><li>二努める。</li><li>二次を地区ででませい。</li><li>二次を地域できる。</li><li>このかた協議をしる。</li><li>高級議検討してきる。</li><li>高級議検討してきる。</li><li>高級議検討してきる。</li><li>高級では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会別では、</li><li>会談が、</li><li>会別では、</li><li>会別では</li></ul>	18×10 Cとかい	達成で 100) いく。 らく。 おける しまっ			
R 4 年度 R 5 年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利未整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を間 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団条例における定数5	加底拡 のの火〇伴き発安実の直7火〇 困合加 底 実 ののえ・大 感消栓6いか生全施実し1栓6 難っえ ・ 施 実 消料のに地てな認きに結×のに なた、 幹 で 施 火栓のに対すな認さに結×のに 地変地 部 き に 栓を	成成議院 を新設けばくっか。80kmの設し、がばの、議に、80kmの設し、がはの、議に、80kmの設し、がはの、議に、80kmの設し、増つ依等で、80kmので、40kmで、80kmのでは、増つ依等で、80kmのでは、40kmで、80kmのでは、40kmで、80kmのでは、40kmで、80kmのでは、40kmで、80kmのでは、40kmで、80kmのでは 80kmのでは、80kmのでは80kmので80kmので80kmのでは80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80km	より防止で、目で3は加いでは、100円では、	発変警す引とをにを止とととを変巡るきな満見図をな大かののののののいときとがのいのいいのいいのいい	<ul><li>公務災害団</li><li>施する。</li><li>で東</li><li>をで東</li><li>ができ</li><li>で当次の</li><li>と条</li><li>災</li><li>が</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><l>の<li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li></li></l></ul>	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東から直しとののである。 では、100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	<ul> <li>二努める。</li> <li>二次ため、 E</li> <li>十・全地区でで果と協議検討している。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> </ul>	18×1 18×1 18 × C 18 × C 19 × C 10 ×	達成で 1000 いく。 らく。 おけまっ			
R 4 年度 R 5 年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利末整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団系例における定数5 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・治団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見 た。 (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹	加底拡 のの火〇伴き発安実の直7火〇 困合加 底 実 ののえ・大 感消栓6いか生全施実し1栓6 難っえ ・ 施 実 消料のに地てな認きに結×のに なた、 幹 で 施 火栓のに対すな認さに結×のに 地変地 部 き に 栓を	成成議院 を新設けばくっか。80kmの設し、がばの、議に、80kmの設し、がはの、議に、80kmの設し、がはの、議に、80kmの設し、増つ依等で、80kmので、40kmで、80kmのでは、増つ依等で、80kmのでは、40kmで、80kmのでは、40kmで、80kmのでは、40kmで、80kmのでは、40kmで、80kmのでは、40kmで、80kmのでは80kmのでは80kmので80kmので80kmのでは80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80kmので80km	より防止で、目で3は加いでは、100円では、	発変警す引とをにを止とととを変巡るきな満見図をな大かののののののいときとがのいのいいのいいのいい	<ul><li>公務災害団</li><li>施する。</li><li>で東</li><li>をで東</li><li>ができ</li><li>で当次の</li><li>と条</li><li>災</li><li>が</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><l>の<li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li>の</li><li></li></l></ul>	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東から直しとののである。 では、100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	<ul> <li>二努める。</li> <li>二次ため、 E</li> <li>十・全地区でで果と協議検討している。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> <li>3。</li> </ul>	18×1 18×1 18 × C 18 × C 19 × C 10 ×	達成で 1000 いく。 らく。 おけまっ			
R 4 年度 R 5 年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利末整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に き続き消防団員の募集を働 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防水利末整備地区に2基 成することはできなかったた の)	加底拡 のの火〇伴き発安実の直7火〇 困合加 底 実 ののめえ・大 感消栓6いか生全施実し1栓66 難っえ ・ 施 実 消、・ 幹の 染火等人、けし確で施た8等人 なた、 幹 で 施 火年地・300 いたではてな認きに結×のに 地変地 部 き に 栓間が会の がた 変 を充 質を充する。	成(議)のという。 成(議)のという。 で、も、注談にいいう。 はいいうでは、というでは、いうでは、いうでは、いうでは、いうでは、いうでは、いうでは、いうでは、	よりに 水田 では いっぱい はいまし いっぱい はいっぱい はいっぱい はいっぱい はいっぱい はいっぱい はいっぱい はい	発夜警す引とをにを止しきと「く動発を巡るきな満見図をな分。日のときたあった合り除た伊っ団たをがかのでででででのいい <td>、 、公務 (</td> <td>の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東 から直しとののでは、 のうでは、 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。</td> <td><ul> <li>二努める。</li> <li>二次ため、 E</li> <li>二次に対して</li> <li>二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十</li></ul></td> <td>想標を 18× たい たい にいく か回に での 5× 8×</td> <td>達成で 100) いく。 らく。 おけまっ 基を達 10</td>	、 、公務 (	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東 から直しとののでは、 のうでは、 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。	<ul> <li>二努める。</li> <li>二次ため、 E</li> <li>二次に対して</li> <li>二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十</li></ul>	想標を 18× たい たい にいく か回に での 5× 8×	達成で 100) いく。 らく。 おけまっ 基を達 10			
R 4 年度 R 5 年	3 4 1 2 3 4	(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症 きなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症 (実績評価) ・消防水利末整備地区への消 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団系例における定数5 (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の公務災害は (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (実績評価) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・消防団条例における定数5 (次年度修正点) ・治団定数を確保することが 諸問題を聞き取り、分団に見 た。 (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹	加底拡 のの火〇件き発安実の直7火〇 困合加 底 実 の のめ 定え・大 感消栓6いか生全施実し1栓6 難っえ・・施 実 消、し地部の 状栓のに地てな認きに結×のに 地定地 き に を育いた 大を新交域いがあた。 と を育いた で を育いた で を育いた と しょ を育いた かんしょう しょく	成議が、を新設しにくっ徹。の、O設し、がにの議し、路が、新足のなり、Oは、地で、視しついてとい、で、高端)の4 えい頼ず、利し、いてとい、東天、地では、増い頼ず、雨。 しか ては、東天、地では、 で、雨。 しか ていました まんしん ててに ままい しん ていき まんしん はいかい かいまい はいまい かいまい はいまい はいまい はいまい はいまい	よりに 水田 では いっぱい はいまし いっぱい はいっぱい はいっぱい はいっぱい はいっぱい はいっぱい はいっぱい はい	発夜警す引とをにを止しきと「く動発を巡るきな満見図をな分。日のときたあった合り除た伊っ団たをがかのでででででのいい <td>、 、公務 (</td> <td>の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東 から直しとののでは、 のうでは、 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。</td> <td><ul> <li>二努める。</li> <li>二次ため、 E</li> <li>二次に対して</li> <li>二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十</li></ul></td> <td>想標を 18× たい たい にいく か回に での 5× 8×</td> <td>達成で 100) いく。 らく。 おけまっ 基を達 10</td>	、 、公務 (	の発生防止に間を中止として 間を中止として 備地区547 伊東 から直しとののでは、 のうでは、 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。 のった。	<ul> <li>二努める。</li> <li>二次ため、 E</li> <li>二次に対して</li> <li>二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十</li></ul>	想標を 18× たい たい にいく か回に での 5× 8×	達成で 100) いく。 らく。 おけまっ 基を達 10			

1(実績評価)・消防団条例における定数506人に対し、451人の登録となった。

(次年度修正点) ・「分団定数に関するアンケート」の結果を踏まえ、消防団員数の適正化を図るため条例定数の改正及び消防団員を確保するための機能別消防団員制度を導入する。(伊東市消防団条例R7.4.1改正済)

2 (実績評価)・自団訓練での安全確認不足による怪我1件に加え、火災活動時での怪我2件、計3件の公務災害が発生してしまった。

(次年度修正点)・災害活動中の安全確認の徹底・幹部会議等で事故防止の啓発等を行い、公務災害の発生防止に努める。

3 (実績評価)・予定していた日数の夜警を実施できた。(雨天等による中止を除く)

6

年度

(次年度修正点)・各分団の負担軽減を図りながら、適切な夜警活動の実施に努める。

4 (実績評価)・消防水利未整備地区に2基の消火栓を新設したため、充足率が前年比0.3%増加したが、年間設置目標の5基を達成することはできなかったため、目標を上方修正した年間充足率1%の上昇には届かなかった。(整備地区597÷全地区718×100)

(次年度修正点)・消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、引き続き、伊東消防署・水道課と協議検討していく。

					指標数	5	5	5	5	5		本的な取	
2	2	基本的な取組(2桁コード)	・主な内容(4桁=	コード)	達成数	4	3	4	3	0		・主な内 の達成状	
					達成率	80%	60%	80%	60%	0%	況		
					指標数	1	1	1	1	1			
	01	消防団員の確保		達成状況	達成数	0	0	1	1	0			
				達成率	0%	0%	100%	100%	0%				
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		404 地域・事業者等への入	R1	目標値	1	1	1	1	1		危機対		
	0	101 団促進に関する広報	1 🗇	実績値	0	0	1	1			策課		
			載回数		評価	× 未達成			〇 達成		以上		
	評価   × 未達成   × 未達成   ○ 達成   ○ 達成   以上   水上   水上   水上   水上   水上   水上   水上												
左氏	R 4	R 0101 消防団行事等の実施に伴う広報は掲載できたが、入団促進に関する広報は掲載できなかった。今後は消防団行事等の実施に伴う広報を掲載する際、合わせて入団促進に関する広報を掲載するとともに、年度末等に新規入団者募集の広報を掲載する。											
馬部位	R 5	R 0101 新規消防団員入団募集に関する広報を掲載することができた。											
	R 6	0101 新規消防団員入団募集	集に加え、令和7年	度から導入	する機能	<b>的消防団員</b>	の募集に関	する広報を	掲載するこ	とができた。			

	20				指標数	2	2	2	2	2			
(	)2	2 消防団員の活動環境	の整備・向上	達成状況	達成数	2	2	2	2	0			
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		。。 . 消防ポンプ車・安全装		R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対	
	02	201 備品等の更新	安全装備品整備率	100%	実績値	100	100	100	100		/0	策課	
		WHO G 60 52 491			評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	〇 達成			NUX.	
		000 常備消防との合同訓練		R1	目標値	1	1	1	1	1		危機対	
	02	202 帝順月的このロロ訓練 等の実施	訓練の実施回数	10	実績値	3	4	5	5			策課	
												NUX.	
	O2O1 消防団活動に必要な安全装備品(活動服・アポロキャップ・編上靴)を購入・支給することができた。 R												
	3	0202 秋季消防総合演習·	製海市消防団合同訓	緬笙   党備	当防との	合同訓練を	宝施するこ	とができた					
		0202 水子// 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1		אוח ידיאווו			. <del></del>		0				
		0201 消防団活動に必要な	資機材・安全装備品	(小型動力	ポンプ・	活動服・ア	゚゚ポロキャッ	プ・編上靴	)を購入・う	支給すること	とがて	きた。	
年	R		0 0 ta )		/ <sub>2</sub> + /T =			<del></del>	WITH L- 00 00	====+-==+	<del></del>	- 1-4"	
	4	0202 秋季消防総合演習( ) できた。	2会场)・熱海巾店	的国名问制	練・伊5	2中消防回行	间訓練にあ	いく、吊俑	消防との合同	司訓練を実施	也96	(27)	
度		0201 消防団活動に必要な	容機材 • 安全生借品	、(小畑川重加ナ	ポンプ・	活動眼。7	プポロキャッ	プ・編上靴	• 防棄差 • /	/ ルメット)	を開	7 • 专	
評	R	給することができた。		1 (1) <del>1</del> 13) / 2	m22		/NU-1 7 /	ノーが開工手心	的令目	(10/1/1/	C 7#		
οŦ	5	0202 秋季消防総合演習(	2会場)・東伊豆町	消防団合同	]訓練・熱	海市消防団	合同訓練・	伊豆市消防	団合同訓練に	こおいて、言	常備消	防との	
価													
	O2O1 消防団活動に必要な資機材・安全装備品(小型動力ポンプ・活動服・革手袋・アポロキャップ・編上靴・ヘッドライト・保護メガ												
	R	ネ・防塵マスク)を											
	6	:::::::::::::::::::::::::::::::::::		消防団合同	]訓練・熱	热海市消防团	]合同訓練・	伊豆市消防	団合同訓練に	こおいて、常	常備消	防との	
		合同訓練を実施する	ことかできた。										

					指標数	1	1	1	1	1	]		
(	03	3 消防水利の充実強化		達成状況	達成数	1	1	1	0	0			
					達成率	100%	100%	100%	0%	0%			
		主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		水利希薄地域への耐震 301 性貯水槽の適切かつ計	消防水利充足率の	R1	目標値	76	77	78	84 (79)	85 (80)	%	危機対	
	0	画的な建設	向上	75%	実績値	76	83	83	83			策課	
				15%	評価	〇 達成	〇 達成	〇 達成	× 未達成		以上		
	R 3	R 0301 消防水利未整備地区に4基の消火栓を新設し、充足率を向上することができた。											
年	R 4	0301 消防水利充足率の算品	出を見直した結果、	整備地区数	が増加し	、充足率が	向上した。						
度評価													
	R 6	担ぐ生性の日蓮店には											

00 CVIC.													
						指標数	1	1	1	1	1		
O4 消防団への入団意欲の増強					達成状況	達成数	1	0	0	0	0		
						達成率	100%	0%	0%	0%	0%		
			主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			いがトラ沙は田京哲	登録事業所数	R1	目標値	26	85	90	95	100	∀かタサア 危ネ	A-+616
			ありがとう消防団応援 事業所の登録数増加		24か所	実績値	79	80	80	80			危機対 策課
		サ木がいりは水数は加				評価	〇 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			水味
	R 3												
年度	R 0401 消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。 6 商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。												
度評価	R 5	R 0401 消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。 ち 商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。											
	R 0401 消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。 商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。												